

持続可能な観光にかかる旅行商品の造成に向けた  
ラベルインデックスのとりまとめ

# 持続可能な観光にかかる旅行商品の造成に向けたラベルインデックスのとりまとめ

## 目次

### I. はじめに

### II. 持続可能な観光関連ラベルインデックス

#### 1. 観光地/観光資源

- (1) 日本版持続可能な観光ガイドライン (J S T S - D)
- (2) ① Green Destinations Top 100 Stories (TOP100)  
② Green Destinations Awards & Certification program
- (3) The EarthCheck Sustainable Destinations Program
- (4) GSTC certification / ビレオ
- (5) ブルーフラッグ
- (6) グリーンフィンズ
- (7) ダークスカイプレイス・プログラム (和名: 星空保護区認定制度)
- (8) ジオパーク
- (9) 世界遺産
- (10) 日本遺産

#### 2. 宿泊施設

- (11) GSTC certification / コントロールユニオン
- (12) GSTC certification / ビューローベリタス
- (13) GSTC certification / ビレオ (再掲)
- (14) GSTC certification / ユナイテッドサティフィケーションシステムズ
- (15) グリーンキー
- (16) Green Globe Certification
- (17) ユネスコ・サステナブルツーリズムの誓約
- (18) 世界観光倫理憲章
- (19) サクラクオリティ
- (20) W E L L 認証
- (21) L E E D 認証
- (22) 観光施設における心のバリアフリー認定制度  
(参考) booking.com の取組

#### 3. 旅行会社

- (23) トラベライフ
- (24) GSTC certification / コントロールユニオン (再掲)
- (25) GSTC certification / ビューローベリタス (再掲)

- (26) GSTC certification／ビレオ（再掲）
- (27) GSTC certification／ユナイテッドサティフィケーションシステムズ(再掲)
- (28) 世界観光倫理憲章（再掲）

#### 4. 飲食店／レストラン

- (29) FOOD MADE GOOD
- (30) WWF サステナブル・シーフード基準
- (31) G A P 認証
- (32) 観光施設における心のバリアフリー認定制度（再掲）

#### 5. ガイド

- (33) GSTC Professional Certificate in Sustainable Tourism
- (34) 自然資源を活かすエコツーリズム・ インタープリテーション人材

#### 6. 脱炭素対策の取組

- (35) S B T
- (36) グリーナーチョイス

### Ⅲ. おわりに

[付録] 国内取得地域・国内取得企業一覧表

## I. はじめに

観光庁では、地域振興や国内産業の活性化等のため、2030年までに訪日外国人旅行者数6,000万人の目標を掲げているところ、その見通しは決して明るいとは言えない状況にある。

昨今の国際情勢における持続可能な観光への意識の高まりを踏まえると、今後の観光産業の発展に向けては、各旅行業者において、持続可能な観光にかかる旅行商品を販売していく必要がある。

一方、国内の観光産業に目を向けると、持続可能な観光にかかる旅行商品の造成・販売は未だ普及しているとは言えない状況にある。

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の取組が世界的に加速する中、持続可能な観光は旅行業者にとっても避ける事の出来ないテーマとなっている。持続可能な観光にかかる旅行商品を造成するためには、持続可能性に配慮された商品素材が必要であり、どのような基準で持続可能な商品素材を選択すればよいのか、という課題に直面する事が考えられる。

その際に、選択の一助となるものが「認証ラベル」である。

認証ラベルの重要性に関する大きな理由の一つは、独自の判断で自社の商品やサービス、あるいは自社そのものが持続可能であると主張するよりも、第三者機関の審査等により認められた証明を提示することで、旅行者やビジネスパートナーからの信頼を得やすい点である。

一方、過去に海外では市場において認証ラベルが乱立し、どの認証ラベルが適切なものか判断が難しい状況があった。そのため、持続可能な観光の国際的な基準を管理する団体として、国連基金などの協力のもと、2007年にGSTC (Global Sustainable Tourism Council: グローバルサステナブルツーリズム協議会) が設立された。

GSTCは、持続可能な観光の普及に向け、大きな枠組みの中での国際基準を策定し、管理する事を目的としている。すなわち、GSTCの国際基準は、多くの認証ラベルの中から適切なものを選択する際の判断基準となり得る。

本文書では、旅行業者が持続可能な観光にかかる旅行商品の造成を検討する際に、持続可能性に配慮した素材を認識するための認証ラベル等を示している。

世界的な潮流に沿う旅行商品が普及することで、国内の旅行業界活性化の一助となれば幸いである。

## II. 持続可能な観光に関連するラベルインデックス

本文書で取り上げている認証ラベルは、①第三者機関/団体が関与し認めている点、②国内で流通している（あるいは流通させる価値あるがあると考えられる）点の2つの要件を考慮の上、選定した認証ラベル/表彰制度、あるいは取組（宣言や公表）となる。

「観光地／観光資源」、「食事」、「宿泊施設」、「旅行会社」、「ガイド」、「脱炭素の取り組み」の6つのカテゴリーにおける認証ラベル及び取組（宣言や公表）を掲載しているので、持続可能な観光にかかる旅行商品を造成する際に役立ててもらいたい。

※ G S T C の国際基準に準拠しているラベルは、ラベル名を黄色のハイライトで示している。

## 1. 観光地／観光資源

持続可能な観光にかかる旅行商品の造成において、まずは、持続可能性に配慮した取組を推進している地域・資源の選定から始める事を推奨する。また、例えば将来的に旅行会社として持続可能な観光に関連した認証取得等を目指す場合においても、取り扱う旅行商品の素材における持続可能性が評価対象となるため、持続可能な観光地域との協働は重要となる。

(1)

対 象	地域	
名 称	日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)	
管理団体	観光庁	
本 部 国	日本	
連絡窓口	観光庁参事官 (外客受入担当) 室 TEL 03-5253-8972(直通)	
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地方公共団体や観光地域づくり法人 (DMO) が持続可能な観光地マネジメントを行うことができるよう、国際基準であるG S T Cに準拠した本ガイドラインを観光庁が 2020 年に開発した。</li> <li>・ 各地域において、本ガイドラインを取り入れ、最大限活用されることにより、効果的で持続可能な観光地マネジメントへの取組がさらに加速する事が期待される。</li> <li>・ 以下の2つの要件で、ロゴマーク申請が可能となる。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 観光計画等においてJ S T S - Dに基づき取り組むことが明記されている。</li> <li>② 担当者がG S T Cトレーニングプログラムを受講し、「修了証」の発行を受けている。</li> </ol> </li> <li>・ ロゴマーク取得後は、プロモーション等に活用する事で、S D G s などに関心の高い旅行者や移住者などを地域に呼び込むことが期待できる。(ロゴマークの使用は無料)</li> <li>・ 海外では、持続可能性に配慮した地域、旅行商品、宿泊施設の需要がさらに高く、持続可能な観光は、今後のインバウンド政策に向けて非常に重要である。</li> </ul>	
参考 URL	日本版持続可能な観光ガイドライン： <a href="https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001350849.pdf">https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001350849.pdf</a> ロゴマークについて： <a href="https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics08_000175.html">https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics08_000175.html</a>	

(2)

対 象	地域	 
名 称	① Green Destinations Top 100 Stories (TOP100) ② Green Destinations Awards & Certification program	
管理団体	グリーン・デスティネーションズ	
本 部 国	オランダ	
連絡窓口	グリーン・デスティネーションズ : contact@greendestinations.org	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>グリーン・デスティネーションズは、2014年に設立された団体で、観光地域に対して認証を行う。G S T Cが認定している第三者認証機関。</li><li>グリーン・デスティネーションズは、認証までのプロセスにおいて、段階的な表彰制度を設けており、Top100、ブロンズ賞、シルバー賞、ゴールド賞、プラチナ賞、グリーン・デスティネーションズ認証というステップとなっている。</li><li>TOP100の表彰制度は、最初のステップとして奨励されており、グリーン・デスティネーションズが策定した100項目の基準項目 (Green Destinations Standard) のうち、1年目は15項目、2年目は30項目のサステナビリティチェックを行い、レポートを作成することでエントリーが可能となり、一次審査を受けることができる。二次審査では、「グッドプラクティスストーリー」という持続可能な観光の取組に関する優良事例のストーリーを提出し、そのストーリーが高い評価を受けた地域がTOP100に選出される。</li><li>各表彰・認証を獲得した地域は、グリーン・デスティネーションズによって国際的なプロモーション等の支援が受けられ、また、各国のグリーン・デスティネーションズメンバーとの情報交換やネットワーキングの機会に参加が可能となる。</li><li>他の認証機関と異なり、日本人の審査員が存在する。</li></ul>	
参考 URL	グリーン・デスティネーションズ : <a href="https://greendestinations.org/">https://greendestinations.org/</a> Green Destinations TOP100: <a href="https://greendestinations.org/programs-and-services/top-100-destinations/">https://greendestinations.org/programs-and-services/top-100-destinations/</a>	

(3)

対 象	地域	
名 称	The EarthCheck Sustainable Destinations Program	
管理団体	アースチェック	
本 部 国	オーストラリア	
連絡窓口	アースチェック : info@earthcheck.org	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ アースチェックは、1987年に設立された団体で、設立当初は、オーストラリアでの調査機関として開始。GSTCが認定している地域向けプログラムを持つ第三者認証機関の中でも歴史ある団体。</li><li>・ 認証プログラムでは、シルバー、ゴールド、プラチナ、マスターのレベルを目指して長期的に取り組む制度となっている。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ アースチェックのThe EarthCheck Company Standardでは、宿泊施設や旅行会社などの事業者も取り組むことのできる独自の認証プログラムを運営しているため、地域と事業者との連携に繋げやすいメリットがある。</li></ul>	
参考 URL	アースチェック : <a href="https://earthcheck.org/">https://earthcheck.org/</a> 海外取得地域 : <a href="https://earthcheck.org/search-members/interactive-map/">https://earthcheck.org/search-members/interactive-map/</a> 地域認証プログラムプロセスマップ : <a href="https://earthcheck.org/media/51134/process-map-earthcheck-sustainable-destinations-july-2021.png">https://earthcheck.org/media/51134/process-map-earthcheck-sustainable-destinations-july-2021.png</a> その他認証プログラム : <a href="https://earthcheck.org/products-services/certification/sustainable-destinations/">https://earthcheck.org/products-services/certification/sustainable-destinations/</a>	

(4)

対 象	地域、宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC Certification	
管理団体	ビレオ	
本 部 国	イタリア	
連絡窓口	ビレオ : <a href="mailto:info@vireosrl.it">info@vireosrl.it</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ビレオは、2006年に設立された団体で、設立当初は、F S C（森林管理協議会）などの環境認証サービスから開始した第三者認証機関。</li><li>・ G S T Cが認定している第三者認証機関の中でも唯一、観光地域向け、宿泊施設向け、旅行会社向けのすべての認証プログラムでもG S T C認定を受けている。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ 観光地域向けの認証から事業者向けの認証まで、幅広い範囲の認証プログラムに関して相談できることが特徴。また、F S C（森林管理協議会）認証やM S C（海洋管理協議会）認証のプログラムも運営していることから、木材、紙、水産物を扱う地域関係者の取組に資する情報を得ることも可能。</li></ul>	
参考 URL	ビレオ : <a href="https://www.vireosrl.it/en/">https://www.vireosrl.it/en/</a> GSTC Certification : <a href="https://www.vireosrl.it/en/certificazioni/_trashed/">https://www.vireosrl.it/en/certificazioni/_trashed/</a> 取得地域、事業者 : <a href="https://www.vireosrl.it/certificati-gstc/">https://www.vireosrl.it/certificati-gstc/</a> F S C ジャパン : <a href="https://jp.fsc.org/jp-ja">https://jp.fsc.org/jp-ja</a> M S C ジャパン : <a href="https://www.msc.org/jp">https://www.msc.org/jp</a>	

※ 2. 宿泊施設、3. 旅行会社に記載の内容と同じ

(5)

対 象	ビーチ／マリーナ	
名 称	ブルーフラッグ	
管理団体	F E E (Foundation for Environmental Education、国際環境教育基金)	
本 部 国	デンマーク	
連絡窓口	FEE Japan : <a href="mailto:info@feejapan.org">info@feejapan.org</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ブルーフラッグは、世界最大規模の環境 NPO／NGO 団体である F E E が実施しているビーチやマリーナを対象とした環境認証。1987 年にプログラムが開始された。</li><li>・ 「水質」、「環境教育と情報」、「環境マネジメント」、「安全とサービス」についての基準を達成することによって与えられる。</li><li>・ ブルーフラッグは、世界のビーチ共通の「安心のしるし」として機能し、他のビーチとの差をつける上での重要な要素となる。</li><li>・ 周辺地域の関係者が関与することにより、地域の経済的側面と環境的側面を両立させる持続可能な発展につながることを期待されている。</li></ul>	
参考 URL	特定非営利活動法人 FEE Japan : <a href="https://www.feejapan.org/blueflag/">https://www.feejapan.org/blueflag/</a>	

(6)

対 象	ダイビング／シュノーケリング	
名 称	グリーンフィンズ	
管理団体	UNEP（国連環境計画）、リーフワールド財団	
本 部 国	UNEP：ケニア	
連絡窓口	THE GREEN FINS JAPAN TEAM : <a href="mailto:japan@greenfins.net">japan@greenfins.net</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ グリーンフィンズは、2004年に UNEP（国連環境計画）が開始したプログラム。サンゴ礁保全を目的としており、環境に配慮したダイビングやシュノーケリングのガイドラインの作成と、それを遵守しているダイビング・シュノーケリング事業者の評価、認定を行なっている。現在はリーフワールド財団が主導する。</li><li>・ 事業者の認定には厳しい評価制度を設けており、導入後の効果測定なども行われている。</li><li>・ 設立以来、11カ国で約600のダイビングショップが認定されている。</li></ul>	
参考 URL	グリーンフィンズ： <a href="https://greenfins.net/">https://greenfins.net/</a> 恩納村 ダイビング・シュノーケリングガイドライン Green Fins の取組みについて： <a href="http://www.vill.onna.okinawa.jp/politics/1508724757/1610705037/">http://www.vill.onna.okinawa.jp/politics/1508724757/1610705037/</a>	

(7)

対 象	星空	 
名 称	ダークスカイプレイス・プログラム (和名: 星空保護区認定制度)	
管理団体	国際ダークスカイ協会 ( I D A )	
本 部 国	アメリカ	
連絡窓口	国際ダークスカイ協会東京支部 ( I D A 東 京) : <a href="mailto:ochi@idatokyo.org">ochi@idatokyo.org</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ダークスカイプレイス・プログラム (和名: 星空保護区認定制度) は、光害 (ひかりがい) の影響のない、暗い自然の夜空を保護・保存するための優れた取組を称える制度。国際ダークスカイ協会 ( I D A ) により 2001 年に開始された。</li><li>・ 認定には、屋外照明に関する厳格な基準や、地域における光害に関する教育啓発活動などが求められる。</li><li>・ 星空保護区には、ダークスカイ・コミュニティ、ダークスカイ・パーク、ダークスカイ・リザーブ、ダークスカイ・サンクチュアリ、アーバン・ナイトスカイプレイス、ダークスカイ・ディベロップメント (※1) という 6 つのカテゴリーがある。</li></ul> <p>※1 ダークスカイ・ディベロップメントは 2019 年 12 月 31 日をもって申請の受付が終了し、このカテゴリーは廃止の予定。</p>	
参考 URL	国際ダークスカイ協会東京支部 ( I D A 東京) : <a href="https://idatokyo.org/">https://idatokyo.org/</a> 星空保護区 : <a href="https://hoshizorahogoku.org/">https://hoshizorahogoku.org/</a>	

(8)

対 象	地域	
名 称	ジオパーク	
管理団体	国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）、 日本ジオパーク委員会	
本 部 国	フランス	
連絡窓口	日本ジオパークネットワーク： info@geopark.jp	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>ジオパークとは、「地球・大地（ジオ：Geo）」と「公園（パーク：Park）」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球（ジオ）を学び、丸ごと楽しむことができる場所。</li><li>日本ジオパーク委員会が認定する「日本ジオパーク」と、ユネスコが認定する「ユネスコ世界ジオパーク」がある。</li><li>ユネスコ世界ジオパークとは、ユネスコの定める基準に基づいて認定された高品質のジオパークで、2015年に、第38回ユネスコ総会においてユネスコの正式プログラムとなっている。</li><li>ジオパークでは、まずそのジオパークの見どころとなる場所を「ジオサイト」に指定して、多くの人々が将来にわたって地域の魅力を知り、利用できるよう保護を行う。その上で、これらのジオサイトを教育やジオツアーなどの観光活動などに活かし、地域を元気にする活動や、そこに住む人たちに地域の素晴らしさを知ってもらおう活動を行うことが期待されている。</li></ul>	
参考 URL	日本ジオパークネットワーク： <a href="https://geopark.jp/">https://geopark.jp/</a>	

(9)

対 象	文化遺産／自然遺産	
名 称	世界遺産	
管理団体	国際連合教育科学文化機関 (ユネスコ)	
本 部 国	フランス	
連絡窓口	日本ユネスコ協会連盟： <a href="https://www.unesco.or.jp/contact/">https://www.unesco.or.jp/contact/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 世界遺産は、1972年にユネスコ総会で採択された世界遺産条約に基づき「世界遺産リスト」に記載された、「顕著な普遍的価値」をもつ建造物や遺跡、景観、自然のこと。世界遺産条約とは、世界の文化遺産や自然遺産を人類全体のための世界遺産として、損傷、破壊等の脅威から保護し保存していくために、国際的な協力及び援助の体制を確立することを目的とした条約。</li><li>・ 世界遺産リストに記載する遺産は、1年に一度開催される世界遺産委員会で審議され、登録の可否が決定する。世界遺産委員会では「登録」、「情報照会」、「登録延期」、「不登録」の4段階の決議を行う。</li><li>・ 世界遺産は、人類が作り上げた「文化遺産」と、地球の歴史や動植物の進化を伝える「自然遺産」、その両方の価値をもつ「複合遺産」に分類される。</li></ul>	
参考 URL	世界遺産とは： <a href="https://www.unesco.or.jp/activities/isan/about-worldheritage/">https://www.unesco.or.jp/activities/isan/about-worldheritage/</a> 世界遺産検定： <a href="https://www.sekaken.jp/">https://www.sekaken.jp/</a>	

(10)

対 象	文化財	 <b>日本遺産</b> JAPAN HERITAGE
名 称	日本遺産	
管理団体	文化庁	
本 部 国	日本	
連絡窓口	文化庁参事官（文化観光担当）	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本遺産とは、文化庁が 2015 年に創設した認定制度。地域の歴史的魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を支援するもの。</li><li>・ 世界遺産登録や文化財指定は、いずれも登録・指定される文化財（文化遺産）の価値付けを行い、保護を担保することを目的とするものであるが、一方で日本遺産は、既存の文化財の価値付けや保全のための新たな規制を図ることを目的としたものではなく、地域に点在する遺産を「面」として活用し、発信することで、地域活性化を図ることを目的としている点に違いがある。</li><li>・ 「日本遺産」に認定されると、認定された当該地域の認知度が高まるとともに、今後、日本遺産を通じた様々な取組を行うことにより、地域住民のアイデンティティの再確認や地域のブランド化等にも貢献し、ひいては地方創生に大いに資するものとなると考えられている。</li></ul>	
参考 URL	日本遺産ポータルサイト： <a href="http://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/">http://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/</a>	

## 2. 宿泊施設

環境など持続可能性に配慮した宿泊施設を選択したい旅行者が増加傾向にあるため、宿泊施設の認証ラベルを把握の上、適切な選定を行い、加えて、その宿泊施設に関する持続可能性の情報を旅行者に提供する事が重要となる。

(11)

対 象	宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC Certification	
管理団体	コントロールユニオン	
本 部 国	オランダ	
連絡窓口	㈱Control Union Japan <a href="https://certifications.controlunion.com/ja/control-us/general-enquiry">https://certifications.controlunion.com/ja/control-us/general-enquiry</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1920年に設立した団体で、2002年に認証プログラムを開始した第三者認証機関。日本を含む世界70カ国に事務所がある。</li> <li>・ 様々な分野の認証プログラムを多く保持しており、旅行会社及び宿泊施設向けの認証プログラムは、GSTC認定のものとなっている。認証取得により、GSTCのCOCロゴの使用も可能となる(※1)。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li> <li>・ 認証機関として長い歴史を持つ団体で、食材や資材などの持続可能な調達に関わる認証プログラムも多く運用しているため、サプライチェーン全体における認証プログラムに関する情報を得られることが特徴。</li> </ul>	
参考 URL	コントロールユニオン： <a href="https://certifications.controlunion.com/ja">https://certifications.controlunion.com/ja</a> GSTC認証プログラム： <a href="https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs/gstc">https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs/gstc</a> その他の認証プログラム： <a href="https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs">https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs</a> ※1 COC (Chain of Custody) 管理ナンバーのついたGSTCロゴ： <a href="https://www.gstcouncil.org/gstc-logo-usage-guidelines/">https://www.gstcouncil.org/gstc-logo-usage-guidelines/</a>	

※ 3. 旅行会社に記載の内容と同じ

(12)

対 象	宿泊施設、旅行会社	 
名 称	GSTC Certification	
管理団体	ビューローベリタス	
本 部 国	フランス	
連絡窓口	ビューローベリタスジャパン株式会社 <a href="https://www.bureauveritas.jp/contact_other">https://www.bureauveritas.jp/contact_other</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ビューローベリタスは、1828年にフランス船級協会として設立された団体で、現在は世界最大級の第三者試験・検査・認証機関として「信頼・責任・志と謙虚さ・柔軟さと包容」を価値とし、「品質・健康・安全・環境および社会的責任」の分野で、あらゆる産業・事業・組織の信頼性向上を支える事業を展開している。グループは、世界中に1,500以上のオフィスと研究所に78,000人以上の従業員を擁している。</li><li>・ 2020年4月に、ビューローベリタスグループのビューローベリタス香港が、GSTCより認証機関としての認定を受け、宿泊施設とツアーオペレーター向けの認証プログラムを提供している。</li><li>・ ビューローベリタスの認証プロセスは、以下のとおり。<ul style="list-style-type: none"><li>① 認証範囲の定義</li><li>② 事前監査（オプション）：規格に対する現状のギャップ分析・診断</li><li>③ 2段階の認証審査<ul style="list-style-type: none"><li>第1段階：組織の認証取得準備についての確認を行う準備審査</li><li>第2段階：組織のマネジメントシステムの有効性を含む実施状況の評価</li></ul></li><li>④ 2段階の審査結果が良好な場合、3年間有効な認証を発行</li><li>⑤ 3年後に再認証のための審査</li></ul></li></ul>	
参考 URL	ビューローベリタス： <a href="https://group.bureauveritas.com/">https://group.bureauveritas.com/</a> ビューローベリタスジャパン： <a href="https://www.bureauveritas.jp/">https://www.bureauveritas.jp/</a> GSTC Sustainable Tourism Certification： <a href="https://en.bureauveritas.cn/sites/g/files/zyfpx311/files/media/document/GSTC_EN_3.pdf">https://en.bureauveritas.cn/sites/g/files/zyfpx311/files/media/document/GSTC_EN_3.pdf</a>	

※ 3. 旅行会社に記載の内容と同じ

(13)

対 象	地域、宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC Certification (再掲)	
管理団体	ビレオ	
本 部 国	イタリア	
連絡窓口	ビレオ : <a href="mailto:info@vireosrl.it">info@vireosrl.it</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ビレオは、2006年に設立された団体で、設立当初は、F S C (森林管理協議会) などの環境認証サービスから開始した第三者認証機関。</li><li>・ G S T C が認定している第三者認証機関の中でも唯一、観光地域向け、宿泊施設向け、旅行会社向けのすべての認証プログラムでもG S T C 認定を受けている。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ 観光地域向けの認証から事業者向けの認証まで、幅広い範囲の認証プログラムに関して相談できることが特徴。また、F S C (森林管理協議会) 認証やM S C (海洋管理協議会) 認証のプログラムも運営していることから、木材、紙、水産物を扱う地域関係者の取組に資する情報を得ることも可能。</li></ul>	
参考 URL	ビレオ : <a href="https://www.vireosrl.it/en/">https://www.vireosrl.it/en/</a> GSTC Certification : <a href="https://www.vireosrl.it/en/certificazioni/_trashed/">https://www.vireosrl.it/en/certificazioni/_trashed/</a> 取得地域、事業者 : <a href="https://www.vireosrl.it/certificati-gstc/">https://www.vireosrl.it/certificati-gstc/</a> F S C ジャパン : <a href="https://jp.fsc.org/jp-ja">https://jp.fsc.org/jp-ja</a> M S C ジャパン : <a href="https://www.msc.org/jp">https://www.msc.org/jp</a>	

※ 1. 観光地／観光資源、3. 旅行会社に記載の内容と同じ

(14)

対 象	宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC certification	
管理団体	ユナイテッドサティフィケーションシステムズ	
本 部 国	キプロス	
連絡窓口	ユナイテッドサティフィケーションシステムズ : cert@ucsl.eu	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>ユナイテッドサティフィケーションシステムズ（以下、UCSL）は、2017年にキプロスで設立された団体で、東西ヨーロッパ、ロシア、中東、インド、中国で活動する独立した国際認証機関。サステナビリティ分野で豊富な経験を持つ100人以上の専門家が所属している。</li><li>2020年6月に、UCSLはGSTCより認証機関としての認定を受け、宿泊施設とツアーオペレーター向けの認証プログラムを提供している。</li><li>UCSLは、3段階のサイズに応じた認証プログラムを有しており、サイズは以下の通りとなっている。<ol style="list-style-type: none"><li>① シングル認証（1つの宿泊施設やツアーオペレーター）</li><li>② マルチサイト認証（異なる場所に複数施設を持つ宿泊施設のチェーンや、同じ観光地の異なる場所で活動するツアーオペレーターなど）</li><li>③ グループ認証（1つの観光地における宿泊施設／ツアーオペレーターのグループ、または、異なる所有者の小規模な独立した宿泊施設のグループなど）</li></ol></li><li>現在、GSTCの認証プログラムの他、海洋（ASC、MSC）、持続可能な企業システム（GSES）の認証サービスを提供しており、バイオ燃料、水、金属など他の分野への参画も進めている。</li></ul>	
参考 URL	ユナイテッドサティフィケーションシステムズ : <a href="https://ucsl.eu/">https://ucsl.eu/</a>	

※ 3. 旅行会社に記載の内容と同じ

(15)

対 象	宿泊施設	
名 称	グリーンキー	
管理団体	F E E (Foundation for Environmental Education、国際環境教育基金)	
本 部 国	デンマーク	
連絡窓口	FEE Japan : <a href="mailto:info@feejapan.org">info@feejapan.org</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1994年にデンマークで観光関連の協議会によって設立された団体で、現在は非営利団体であるF E E (環境教育基金)によって運営されている。</li><li>・ グリーンキーには、宿泊施設向けの認証プログラムはないが、表彰プログラムがあり、表彰プログラムで使用されている宿泊施設向け基準は、G S T Cの基準に準拠している。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ 宿泊施設向け以外にもアトラクション、レストラン、国際会議向けなど様々なプログラムを有しており、全てを合わせると、計65カ国、3,200の観光関連施設に対してラベルを付与している。</li><li>・ ラベルを取得すると、グリーンキーマップに施設名が掲載され、グリーンキーと提携しているオンライントラベルエージェントのウェブサイトにも掲載される。</li></ul>	
参考 URL	グリーンキープログラム : <a href="https://www.fee.global/green-key-1">https://www.fee.global/green-key-1</a> 国内の認定宿泊施設 : <a href="https://www.feejapan.org/greenkey/hotels/">https://www.feejapan.org/greenkey/hotels/</a> FEE ジャパン : <a href="https://www.feejapan.org/greenkey/gk_about/">https://www.feejapan.org/greenkey/gk_about/</a>	

(16)

対 象	宿泊施設	
名 称	Green Globe Certification	
管理団体	グリーングローブ	
本 部 国	アメリカ	
連絡窓口	<a href="https://www.greenglobe.com/contact-us">https://www.greenglobe.com/contact-us</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1990年代に設立された歴史のある団体で、オーストラリアの研究機関と連携し、1998年に独自に持続可能な観光基準を設立した。</li><li>・ グリーングローブのプログラムで使用されている宿泊施設向け基準は、GSTCの基準に準拠している。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ 宿泊施設向け以外にもアトラクション、レストラン、国際会議向けなど様々なプログラムを運営しており、80カ国以上で取り組まれている。</li><li>・ 認証取得により、水とエネルギーの使用量が10%削減でき、7.5%の顧客満足度の上昇と認証取得へ取り組むことによるスタッフの満足度が7%改善された、といった統計が発表されている。</li><li>・ 認証取得後は、グリーングローブのメンバーマップに施設名が掲載される。</li></ul>	
参考 URL	認証プログラム : <a href="https://www.greenglobe.com/green-globe-certification/">https://www.greenglobe.com/green-globe-certification/</a> アジア太平洋メンバー : <a href="https://www.greenglobe.com/asia-pacific-indian-ocean-members">https://www.greenglobe.com/asia-pacific-indian-ocean-members</a> クラブメッド カビラ記事 : <a href="https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000033.000041509.html">https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000033.000041509.html</a>	

(17)

対 象	宿泊施設	
名 称	ユネスコ・サステナブルツーリズムの誓約	
管理団体	エクスペディアグループ、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）	
本 部 国	アメリカ	
連絡窓口	エクスペディア広報事務局： rmizutani@aviareps.com	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2019年に始まったホテルの持続可能な取組を促す「サステナブルツーリズムの誓約」。オンラインツアーエージェントのエクスペディアグループ、ユネスコ、タイ国政府観光局との共同パートナーシップで始まった活動で、現在はアコーホテルズも参画している。</li><li>・ 誓約内容は、使い捨てプラスチック製品の削減や廃止を促した①環境面の改善、②経済的・社会的な開発、③責任ある旅行者の促進、④災害からの回復の4つの分野が含まれている。</li><li>・ 誓約した計画の内容などは、毎年見直しが必要で、翌年の計画目標も測定しやすく、達成できるものである必要がある。そのため、将来的に認証に取り組むホテルには良い事前練習となる。</li><li>・ 特に、エクスペディアにデータが紐づいている宿泊先は、今後のコミュニケーション拡大の可能性が期待される。</li></ul>	
参考 URL	<p>ユネスコ・サステナブルツーリズムの誓約： <a href="https://unescosustainable.travel/">https://unescosustainable.travel/</a> 誓約申請のページ：<a href="https://unescosustainable.travel/en/sign-the-unesco-sustainable-travel-pledge">https://unescosustainable.travel/en/sign-the-unesco-sustainable-travel-pledge</a> 4,200ものホテルが加盟：<a href="https://en.unesco.org/news/unesco-sustainable-travel-pledge-reaches-4200-hotels">https://en.unesco.org/news/unesco-sustainable-travel-pledge-reaches-4200-hotels</a> 株ウェッジホールディングスのプレスリリース： <a href="https://www.wedge-hd.com/cms_v2/assets/files/NEWS/2020/p20201112.pdf">https://www.wedge-hd.com/cms_v2/assets/files/NEWS/2020/p20201112.pdf</a> 参考記事：<a href="https://livhub.jp/news/expedia-accor-unesco.html">https://livhub.jp/news/expedia-accor-unesco.html</a> ホテルの取り組み事例： <a href="https://unescosustainable.travel/en/resources">https://unescosustainable.travel/en/resources</a></p>	

(18)

対 象	宿泊施設、旅行会社 等	
名 称	世界観光倫理憲章	
管理団体	国連世界観光機関 (UNWTO)	
連絡窓口	国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所: <a href="https://unwto-ap.org/inquiry/">https://unwto-ap.org/inquiry/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1999年10月の第13回UNWTO総会(チリ・サンティアゴ)において、全加盟国により受入れられたもの。環境、文化遺産、社会に与える潜在的な悪影響を最小限にしながら、観光の発展を最大限に引き出すことを目的とし、各国政府、観光業界、地域社会、旅行者等の全てのステークホルダーが、責任ある持続可能な観光を実現するための規範としている。</li><li>・ UNWTOでは2011年からは、世界観光倫理憲章の普及促進のために、民間部門による世界観光倫理憲章への誓約を促進している。</li><li>・ 民間企業・団体がこのコミットメントに署名をすることで、それぞれの企業・団体が企業の社会的責任(CSR)を通じて、持続可能な観光開発を実践し、促進することを目的としている。</li></ul> <p><b>【世界観光倫理憲章の構成】</b></p> <p>第1条 人間と社会間の相互理解と敬意への観光の貢献 第2条 個人と集団の充足感を得る手段としての観光 第3条 観光：持続可能な開発の要素 第4条 観光：人類の文化遺産の利用とその価値を増進させる貢献 第5条 観光：受入国及び受入側地域社会に役立つ活動 第6条 観光開発の利害関係者の義務 第7条 観光をする権利 第8条 観光客の行動の自由 第9条 観光産業における労働者と事業者の権利 第10条 世界観光倫理憲章の原則の実施</p>	
参考 URL	世界観光倫理憲章： <a href="https://unwto-ap.org/document/world-tourism-ethics-charter/">https://unwto-ap.org/document/world-tourism-ethics-charter/</a>	

(19)

対 象	宿泊施設	
名 称	サクラクオリティ	
管理団体	一般社団法人観光品質認証協会	
本 部 国	日本	
連絡窓口	一般社団法人観光品質認証協会 <a href="https://www.sakuraquality.com/contact">https://www.sakuraquality.com/contact</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ サクラクオリティは、ホテルや旅館等の宿泊施設を中心とした品質認証制度。申請のあった宿泊施設などの観光サービスの品質を第三者が評価し、その品質の高さを認証する仕組み。2009年より実証研究が行われ、2018年に現在の管理団体によりプロジェクトがスタートしている。</li><li>・ サクラクオリティは1サクラ、1＋サクラ、2サクラ、2＋サクラ、3サクラの5段階に分けられるフェーズⅠと、3＋サクラ、4サクラ、5サクラ、ジャパンダイヤモンドの4段階に分けられるフェーズⅡの合計9段階ある。</li><li>・ また、アワード委員会（有識者メンバー）を設置し、審査員による2,000項目の調査を実施した施設に対して、多角的視点により検討を行い、アワードを決定。結果を「サクラクオリティアワード」として公表している。</li><li>・ 旅行者が必要とする質の高い観光サービスに関する情報を発信することにより、旅行者にとってサービス選択の幅が広がるだけでなく、サービスを提供する事業者にとっても、サービスレベルの維持・向上のツールとして活用できる。</li></ul>	
参考 URL	サクラクオリティ： <a href="https://www.sakuraquality.com/">https://www.sakuraquality.com/</a> サクラクオリティ認証施設一覧： <a href="https://www.sakurastay.com/stay">https://www.sakurastay.com/stay</a>	

(20)

対 象	宿泊施設	
名 称	WELL 認証	
管理団体	International WELL Building Institute ( I W B I )	
本 部 国	アメリカ	
連絡窓口	一般社団法人グリーンビルディングジャパン ( G B J ) : <a href="https://www.gbj.or.jp/well/well-consultant-company/">https://www.gbj.or.jp/well/well-consultant-company/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>WELL Building Standard®は、人々の健康とウェルネスに焦点を合わせたビルト・エンバイロメント（建築や街区の環境）の性能評価システム。2014年に米国で認証制度がスタートしている。</li><li>人の健康とウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に良好であること）に影響を与えるさまざまな機能をパフォーマンススペースで測定・評価・認証する。設計、建設、運用のベストプラクティスと、エビデンスに基づいた医学的および科学的研究を組み合わせ、人の健康とウェルビーイングをサポートする建築や街区の環境を評価する。</li><li>評価項目は、より良い建物を通じて人の健康をサポートし、向上させるための10のコンセプト（空気、水、食物、光、運動、温熱快適性、音、材料、こころ、コミュニティ）で構成されている。</li><li>WELL 認証を受けるためには、全ての必須項目を満たし、必要な数の加点項目を取得することが必要。点数が多いと認証レベルが高くなる。</li><li>健康的な経営や働き方改革等を目指すプロジェクトにとっては、その目指すべき方向性や達成度をグローバルな指標で評価できることから、大きな関心が集まっている。</li></ul>	
参考 URL	一般社団法人グリーンビルディングジャパン ( G B J ) : <a href="https://www.gbj.or.jp/">https://www.gbj.or.jp/</a> WELLとは： <a href="https://www.gbj.or.jp/well/about_well/">https://www.gbj.or.jp/well/about_well/</a> 日本の登録件数： <a href="https://www.gbj.or.jp/well/about_well/">https://www.gbj.or.jp/well/about_well/</a>	

(21)

対 象	宿泊施設	
名 称	LEED認証	
管理団体	USGBC (U.S. Green Building Council)	
本 部 国	アメリカ	
連絡窓口	一般社団法人グリーンビルディングジャパン (GBJ) : <a href="https://www.gbj.or.jp/leed/leed-consultant-company/">https://www.gbj.or.jp/leed/leed-consultant-company/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>LEEDは、非営利団体USGBCが開発・運用し、GBCI (Green Business Certification Inc.) が認証の審査を行っている、ビルト・エンバイロメント(建築や都市の環境)の環境性能評価システム。</li><li>最高クラスのビルト・エンバイロメントを作るための戦略やその実現手段を評価するグリーンビルディングの認証プログラムであり、LEED認証を受けるためには、グリーンビルディングとして備えるべきいくつかの必須条件を満たし、選択項目のポイントを選んで取得することが必要となる。</li><li>LEEDは、コストや資源の削減を進めながら、人々の健康に良い影響を与え得ることに配慮し、また、再生可能なクリーンエネルギーを促進している建築物の認証を行っている。</li><li>LEED認証を受けているテナントビルは、より早くテナントが集まる傾向や、税制や都市計画上で優遇措置などの事例がある(米国の例)。</li></ul>	
参考 URL	一般社団法人グリーンビルディングジャパン (GBJ) : <a href="https://www.gbj.or.jp/">https://www.gbj.or.jp/</a> LEEDとは : <a href="https://www.gbj.or.jp/leed/about_leed/">https://www.gbj.or.jp/leed/about_leed/</a> 日本のLEED認証プロジェクトリスト : <a href="https://www.gbj.or.jp/leed/about_leed/certified-projects/">https://www.gbj.or.jp/leed/about_leed/certified-projects/</a>	

(22)

対 象	宿泊施設、飲食店／レストラン	 <p>観光施設 心のバリアフリー認定</p> <p>【認定マーク】</p>
名 称	観光施設における心のバリアフリー認定制度	
管理団体	観光庁	
本 部 国	日本	
連絡窓口	観光庁 観光産業課 観光施設における心のバリアフリー認定制度担当： hqt-kanko-bfnintei@mlit.go.jp	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「観光施設における心のバリアフリー認定制度」は、バリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組む姿勢のある観光施設を対象とした認定制度。</li><li>・ 観光施設のさらなるバリアフリー対応とその情報発信を支援し、高齢者や障がい者がより安全で快適な旅行をするための環境整備を推進するため、観光庁により 2020 年に創設された。</li><li>・ 認定対象は、宿泊施設、飲食店、観光案内所となっており、認定を受けた観光施設は、観光庁が定める認定マークを使用することができる。</li><li>・ 認定を受ける場合、下記の基準をすべて満たす必要がある。<ol style="list-style-type: none"><li>① 備品の備付け、貸出等により施設内の段差解消やコミュニケーションの円滑化を図る取組等施設のバリアフリー性能を補完するための措置を3つ以上行い、高齢者、障がい者等が施設を安全かつ円滑に利用できるような工夫を行っていること。</li><li>② 施設の従業員に対し、高齢者、障がい者等へのコミュニケーションやサポートの仕方に関する研修を実施すること等バリアフリーに関する教育訓練を年に1回以上行っていること。</li><li>③ 自らのウェブサイト以外のウェブサイトで、施設のバリアに関する情報などのバリアフリー情報を、積極的に発信していること。</li></ol></li></ul>	
参考 URL	観光施設における心のバリアフリー認定制度： <a href="https://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000491.html">https://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000491.html</a>	

※ 4. 飲食店／レストランに記載の内容と同じ

(参考)

対 象	宿泊施設	
団 体	Booking.com	
本 部 国	オランダ	
概 要	<p>・ Booking.com では、利用者にとってサステイナブルな選択肢がより身近なものとなるよう、宿泊施設がプラットフォーム上でサステイナブルな取組を紹介できる「サステナブル・トラベル」プログラムを導入している。</p> <p>・ G S T Cをはじめとする認証の仕組みや基準に基づく5つの主要分野（廃棄物の削減、エネルギーや温室効果ガスの削減、節水、地域コミュニティの支援、自然保護）において、実践すればインパクトが見込めるサステイナブルな取組内容を特定している。</p> <p>・ 宿泊施設のページにおいて施設の取組が表示される仕組みが提供されており、Booking.com では、宿泊施設に対してサステイナブルな取組の見える化を働きかけている。また、卓越したサステイナブルなおもてなしを提供している宿泊施設に対しては、「サステナブル・トラベル」のラベルが表示される。</p> <p>・ 本プログラムは、サステイナブルな旅行を推奨する非営利団体 Travalyst などの独立機関によって検証されており、団体と連携しながらアップデートにも取り組んでいる。</p> <p><b>【宿泊施設向けアンケート】</b></p> <p>○ 次のうち、ゴミや廃棄物を減らすために行っている取組はありますか？（はい／いいえ）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- 冷水器／ウォーターサーバー</li><li>- ゲスト用にリサイクル用ゴミ箱を用意し、ゴミをリサイクルしている</li><li>- 食品廃棄に関するポリシーが定められている（教育、防止、削減、リサイクル、処分などについてを含む）</li></ul> <p>○ 次のうち、水の使用量を減らすために行っている取組はありますか？（はい／いいえ）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- タオル交換不要をゲストが希望可能</li><li>- 毎日の清掃サービス不要をゲストが希望可能</li><li>- 水を効率的に利用したトイレのみを設置している（節水型トイレ、洗浄ボタンが2種類ついたデュアルフラッシュトイレなど）</li></ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 水を効率的に利用したシャワーのみを設置している（スマートシャワー、節水シャワーヘッドなど）</li> </ul> <p>○ 次のうち、エネルギーの消費または温室効果ガスの排出量を減らすために行っている取組はありますか？（はい／いいえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 客室内の電源をカードキーまたは人感センサーでコントロール</li> <li>- 自転車レンタル 有料／無料</li> <li>- 80%以上の食品が地産である</li> <li>- 80%以上の照明が、エネルギー効率の良いLED電球を使用している</li> <li>- すべての窓が複層ガラスである</li> <li>- 設定された排出権を購入することにより、年間炭素排出量の10%以上を相殺している</li> <li>- 宿泊施設全体の電力を100%再生可能エネルギーでまかなっている</li> <li>- 駐輪場</li> </ul> <p>○ 次のうち、周辺地域やコミュニティを支援するために行っている取組はありますか？（はい／いいえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 収益の一部を、社会事業やサステナビリティ事業に投資している</li> <li>- 地元のガイドや事業によるツアーやアクティビティを提供している</li> <li>- 現地のアーティストに向け、披露の場を提供している</li> <li>- 現地の生態系や遺産、文化に関する情報や、訪問者としてのマナーなどをゲストに教えている</li> </ul> <p>○ 次のうち、環境への影響を軽減するために行っている取組はありますか？（はい／いいえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 野生動物（飼育されていない動物）を敷地内で展示／触れ合わせたり、加工等の為に捕獲したり、消費、販売していない</li> <li>- 敷地内に緑のあるスペースがある（庭、屋上庭園など）</li> <li>- 提供される食品の80%以上がオーガニックである</li> </ul> <p>○ 使い捨てプラスチック製品の使用廃止（はい／いいえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 使い捨てミニボトルに入ったシャンプー、コンディショナー、ボディソープを廃止した／これまで提供していない</li> <li>- プラスチック製のストローを廃止した／これまで使用していない</li> <li>- プラスチック製のカップを廃止した／これまで使用していない</li> <li>- ペットボトル詰め飲料水を廃止した／これまで提供していない</li> <li>- ペットボトル詰め以外の飲み物を廃止した／これまで提供していない</li> <li>- プラスチック製のカトラリーや食器類を廃止した／これまで使用していない</li> </ul>
--	--

	- プラスチック製のマドラーを廃止した／これまで使用していない
参考 URL	<p>「サステナブル・トラベル」プログラム：  <a href="https://partner.booking.com/ja/%E3%83%98%E3%83%AB%E3%83%97/%E5%AE%BF%E6%B3%8A%E6%96%BD%E8%A8%AD%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8/%E5%9F%BA%E6%9C%AC%E6%83%85%E5%A0%B1%E3%81%AE%E7%AE%A1%E7%90%86/%E3%82%B5%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%8A%E3%83%93%E3%83%AA%E3%83%86%E3%82%A3%E3%81%B8%E3%81%AE%E5%8F%96%E3%82%8A%E7%B5%84%E3%81%BF%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6%E8%A8%AD%E5%AE%9A%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E6%B3%95">https://partner.booking.com/ja/%E3%83%98%E3%83%AB%E3%83%97/%E5%AE%BF%E6%B3%8A%E6%96%BD%E8%A8%AD%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8/%E5%9F%BA%E6%9C%AC%E6%83%85%E5%A0%B1%E3%81%AE%E7%AE%A1%E7%90%86/%E3%82%B5%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%8A%E3%83%93%E3%83%AA%E3%83%86%E3%82%A3%E3%81%B8%E3%81%AE%E5%8F%96%E3%82%8A%E7%B5%84%E3%81%BF%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6%E8%A8%AD%E5%AE%9A%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E6%B3%95</a></p> <p>「サステナブル・トラベル」ハンドブック：  <a href="https://partner.booking.com/ja/help/guides/sustainability-hospitality-handbook">https://partner.booking.com/ja/help/guides/sustainability-hospitality-handbook</a></p>

### 3. 旅行会社

海外の大手旅行会社やクルーズ会社は、持続可能な観光に関する認証ラベルを取得した現地旅行会社や宿泊施設への送客の方針を発表し始めている。そのため、国内の受け入れ旅行会社として認証取得が重要となっている。

(23)

対 象	旅行会社	
名 称	トラベライフ	
管理団体	非営利団体 ECEAT- Projects	
本 部 国	オランダ	
連絡窓口	一般社団法人 J A R T A : <a href="https://jarta.org/contact/">https://jarta.org/contact/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2007年に旅行と観光産業の中での持続可能性を高めるために設立された団体で、G S T C基準に準拠した基準を保持している。</li> <li>・ トラベライフの認証プログラムは、3つのステージに分かれている。ステージ①では、一般会員となり、担当者が認証取得に向けての勉強を始め、ステージ②では、パートナー会員となり、企業として認証に向けて段階的に活動する準備が整った状態となる。パートナー会員ロゴも付与される。ステージ③では、現地監査なども経て評価を受けた企業が認証会員となり、認証ロゴも付与される。</li> <li>・ 特に海外の送客企業に対して、サステナブルな旅行会社であることを示すことができる。</li> <li>・ 国内では、一般社団法人 J A R T A が日本窓口となっており、認証取得サポート、研修等を実施している。</li> <li>・ 国内メンバーのネットワーク化が積極的に図られており、認証取得に向けて取り組む中で、同業者間の課題共有や情報交換などが可能。</li> </ul>	
参考 URL	トラベライフ : <a href="https://www.travelife.info/index_new.php?menu=home&amp;lang=jp">https://www.travelife.info/index_new.php?menu=home&amp;lang=jp</a> 一般社団法人 J A R T A : <a href="https://jarta.org/travelife">https://jarta.org/travelife</a>	

(24)

対 象	宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC Certification (再掲)	
管理団体	コントロールユニオン	
本 部 国	オランダ	
連絡窓口	(株)Control Union Japan <a href="https://certifications.controlunion.com/ja/contract-us/general-enquiry">https://certifications.controlunion.com/ja/contract-us/general-enquiry</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1920年に設立した団体で、2002年に認証プログラムを開始した第三者認証機関。日本を含む世界70カ国に事務所がある。</li><li>・ 様々な分野の認証プログラムを多く保持しており、旅行会社及び宿泊施設向けの認証プログラムは、GSTC認定のものとなっている。認証取得により、GSTCのCOCロゴの使用も可能となる(※1)。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ 認証機関として長い歴史を持つ団体で、食材や資材などの持続可能な調達に関わる認証プログラムも多く運用しているため、サプライチェーン全体における認証プログラムに関する情報を得られることが特徴。</li></ul>	
参考 URL	コントロールユニオン : <a href="https://certifications.controlunion.com/ja">https://certifications.controlunion.com/ja</a> GSTC 認証プログラム : <a href="https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs/gstc">https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs/gstc</a> その他の認証プログラム : <a href="https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs">https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs</a> ※1 COC (Chain of Custody) 管理ナンバーのついた GSTC ロゴ : <a href="https://www.gstcouncil.org/gstc-logo-usage-guidelines/">https://www.gstcouncil.org/gstc-logo-usage-guidelines/</a>	

※ 2. 宿泊施設に記載の内容と同じ

(25)

対 象	宿泊施設、旅行会社	 
名 称	GSTC Certification (再掲)	
管理団体	ビューローベリタス	
本 部 国	フランス	
連絡窓口	ビューローベリタスジャパン株式会社 <a href="https://www.bureauveritas.jp/contact_other">https://www.bureauveritas.jp/contact_other</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ビューローベリタスは、1828年にフランス船級協会として設立された団体で、現在は世界最大級の第三者試験・検査・認証機関として「信頼・責任・志と謙虚さ・柔軟さと包容」を価値とし、「品質・健康・安全・環境および社会的責任」の分野で、あらゆる産業・事業・組織の信頼性向上を支える事業を展開している。グループは、世界中に1,500以上のオフィスと研究所に78,000人以上の従業員を擁している。</li><li>・ 2020年4月に、ビューローベリタスグループのビューローベリタス香港が、GSTCより認証機関としての認定を受け、宿泊施設とツアーオペレーター向けの認証プログラムを提供している。</li><li>・ ビューローベリタスの認証プロセスは、以下のとおり。<ul style="list-style-type: none"><li>① 認証範囲の定義</li><li>② 事前監査（オプション）：規格に対する現状のギャップ分析・診断</li><li>③ 2段階の認証審査<ul style="list-style-type: none"><li>第1段階：組織の認証取得準備についての確認を行う準備審査</li><li>第2段階：組織のマネジメントシステムの有効性を含む実施状況の評価</li></ul></li><li>④ 2段階の審査結果が良好な場合、3年間有効な認証を発行</li><li>⑤ 3年後に再認証のための審査</li></ul></li></ul>	
参考 URL	ビューローベリタス： <a href="https://group.bureauveritas.com/">https://group.bureauveritas.com/</a> ビューローベリタスジャパン： <a href="https://www.bureauveritas.jp/">https://www.bureauveritas.jp/</a> GSTC Sustainable Tourism Certification： <a href="https://en.bureauveritas.cn/sites/g/files/zyfjnx311/files/media/document/GSTC_EN_3.pdf">https://en.bureauveritas.cn/sites/g/files/zyfjnx311/files/media/document/GSTC_EN_3.pdf</a>	

※ 2. 宿泊施設に記載の内容と同じ

(26)

対 象	地域、宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC Certification (再掲)	
管理団体	ビレオ	
本 部 国	イタリア	
連絡窓口	ビレオ : info@vireosrl.it	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ビレオは、2006年に設立された団体で、設立当初は、F S C (森林管理協議会) などの環境認証サービスから開始した第三者認証機関。</li><li>・ G S T C が認定している第三者認証機関の中でも唯一、観光地域向け、宿泊施設向け、旅行会社向けのすべての認証プログラムでもG S T C 認定を受けている。費用については、直接窓口へ確認が必要。</li><li>・ 観光地域向けの認証から事業者向けの認証まで、幅広い範囲の認証プログラムに関して相談できることが特徴。また、F S C (森林管理協議会) 認証やM S C (海洋管理協議会) 認証のプログラムも運営していることから、木材、紙、水産物を扱う地域関係者の取組に資する情報を得ることも可能。</li></ul>	
参考 URL	ビレオ : <a href="https://www.vireosrl.it/en/">https://www.vireosrl.it/en/</a> GSTC Certification : <a href="https://www.vireosrl.it/en/certificazioni/_trashed/">https://www.vireosrl.it/en/certificazioni/_trashed/</a> 取得地域、事業者 : <a href="https://www.vireosrl.it/certificati-gstc/">https://www.vireosrl.it/certificati-gstc/</a> F S C ジャパン : <a href="https://jp.fsc.org/jp-ja">https://jp.fsc.org/jp-ja</a> M S C ジャパン : <a href="https://www.msc.org/jp">https://www.msc.org/jp</a>	

※ 1. 観光地／観光資源、2. 宿泊施設に記載の内容と同じ

(27)

対 象	宿泊施設、旅行会社	
名 称	GSTC certification (再掲)	
管理団体	ユナイテッドサティフィケーションシステムズ	
本 部 国	キプロス	
連絡窓口	ユナイテッドサティフィケーションシステムズ : cert@ucsl.eu	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>ユナイテッドサティフィケーションシステムズ（以下、UCSL）は、2017年にキプロスで設立された団体で、東西ヨーロッパ、ロシア、中東、インド、中国で活動する独立した国際認証機関。サステナビリティ分野で豊富な経験を持つ100人以上の専門家が所属している。</li><li>2020年6月に、UCSLはGSTCより認証機関としての認定を受け、宿泊施設とツアーオペレーター向けの認証プログラムを提供している。</li><li>UCSLは、3段階のサイズに応じた認証プログラムを有しており、サイズは以下の通りとなっている。<ul style="list-style-type: none"><li>④ シングル認証（1つの宿泊施設やツアーオペレーター）</li><li>⑤ マルチサイト認証（異なる場所に複数施設を持つ宿泊施設のチェーンや、同じ観光地の異なる場所で活動するツアーオペレーターなど）</li><li>⑥ グループ認証（1つの観光地における宿泊施設／ツアーオペレーターのグループ、または、異なる所有者の小規模な独立した宿泊施設のグループなど）</li></ul></li><li>現在、GSTCの認証プログラムの他、海洋（ASC、MSC）、持続可能な企業システム（GSES）の認証サービスを提供しており、バイオ燃料、水、金属など他の分野への参画も進めている。</li></ul>	
参考 URL	ユナイテッドサティフィケーションシステムズ : <a href="https://ucsl.eu/">https://ucsl.eu/</a>	

※ 2. 宿泊施設に記載の内容と同じ

(28)

対 象	宿泊施設、旅行会社 等	
名 称	世界観光倫理憲章（再掲）	
管理団体	国連世界観光機関（UNWTO）	
連絡窓口	国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所： <a href="https://unwto-ap.org/inquiry/">https://unwto-ap.org/inquiry/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1999年10月の第13回UNWTO総会（チリ・サンティアゴ）において、全加盟国により受入れられたもの。環境、文化遺産、社会に与える潜在的な悪影響を最小限にしながら、観光の発展を最大限に引き出すことを目的とし、各国政府、観光業界、地域社会、旅行者等の全てのステークホルダーが、責任ある持続可能な観光を実現するための規範としている。</li><li>・ UNWTOでは2011年からは、世界観光倫理憲章の普及促進のために、民間部門による世界観光倫理憲章への誓約を促進している。</li><li>・ 民間企業・団体がこのコミットメントに署名をすることで、それぞれの企業・団体が企業の社会的責任（CSR）を通じて、持続可能な観光開発を実践し、促進することを目的としている。</li></ul> <p><b>【世界観光倫理憲章の構成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>第1条 人間と社会間の相互理解と敬意への観光の貢献</li><li>第2条 個人と集団の充足感を得る手段としての観光</li><li>第3条 観光：持続可能な開発の要素</li><li>第4条 観光：人類の文化遺産の利用とその価値を増進させる貢献</li><li>第5条 観光：受入国及び受入側地域社会に役立つ活動</li><li>第6条 観光開発の利害関係者の義務</li><li>第7条 観光をする権利</li><li>第8条 観光客の行動の自由</li><li>第9条 観光産業における労働者と事業者の権利</li><li>第10条 世界観光倫理憲章の原則の実施</li></ul>	
参考 URL	世界観光倫理憲章： <a href="https://unwto-ap.org/document/world-tourism-ethics-charter/">https://unwto-ap.org/document/world-tourism-ethics-charter/</a>	

#### 4. 飲食店／レストラン

食料廃棄や乱獲漁業などは、環境への悪影響の一因となっている。旅行商品の造成において、持続可能性の側面から、飲食店・レストランやメニューの選定を行う事が重要となる。また、地産地消の食事を提供できることが望ましい。

(29)

対 象	飲食店／レストラン	
名 称	FOOD MADE GOOD	
管理団体	サステイナブル・レストラン協会 (S R A)	
本 部 国	イギリス	
連絡窓口	日本サステイナブル・レストラン協会 (S R A - J) : info@foodmadegood.jp	
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ FOOD MADE GOOD は、フードサービス業界のサステナビリティを高めることをミッションとして、2010年に英国で創設された非営利団体サステイナブル・レストラン協会 (S R A) が飲食店の食材調達や運営のサステナビリティを格付けするプログラム。日本ではS R Aの日本支部である一般社団法人日本サステイナブル・レストラン協会 (S R A - J) が運営を行っている。</li> <li>・ 飲食店、レストランなどフードサービス業者が、サステナビリティに関する「レーティング」を実施することで、このフレームワークの主要な10項目の領域に対して、どの程度それぞれ対処しているかを評価し進捗状況を確認することが可能なツール。</li> <li>・ メンバーがオンラインの自己評価を完了すると、スコアが計算され、サステナビリティの基準を達成している飲食店、レストランがサステナビリティの1つ星、2つ星、3つ星というレーティング結果を受けることになる。</li> <li>・ サステナビリティの取組に関するレーティング評価について、第三者による認定が企業に提供され、顧客、スタッフ、コミュニティ、潜在的な投資家を含むその他のステークホルダーへ示すことができる。</li> </ul>	
参考 URL	日本サステイナブル・レストラン協会 : <a href="https://foodmadegood.jp/">https://foodmadegood.jp/</a>	

(30)

対 象	飲食店／レストラン	
名 称	WWF サステナブル・シーフード基準	
管理団体	世界自然保護基金ジャパン (WWF ジャパン)	
本 部 国	日本	
連絡窓口	公益財団法人世界自然保護基金ジャパン (WWF ジャパン) : <a href="https://www.wwf.or.jp/info/">https://www.wwf.or.jp/info/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>• WWF サステナブル・シーフード基準は、飲食業界において、自然・生態系・社会と調和のとれた持続可能な水産物の利用を促進するため、WWF ジャパンが策定した調達方針。持続可能性を担保するための必要最低限の項目が示されている。</li><li>• 飲食店は、WWF サステナブル・シーフード基準に基づいた調達方針を制定し、この項目を遵守し、取組を推進することを宣言することが求められる。</li><li>• 宣言を行った飲食店は、WWF ジャパンにより、持続可能な水産物調達にかかる情報提供や、WWF ジャパンのオウンドメディア、またメディアを通じて広く、消費者、社会にむけて公表・発信が行われる。</li></ul>	
参考 URL	WWF ジャパン 飲食業における水産物の持続可能な調達に向けて： <a href="https://www.wwf.or.jp/campaign/kasasu/assets/pdf/ProcurementDeclaration.pdf">https://www.wwf.or.jp/campaign/kasasu/assets/pdf/ProcurementDeclaration.pdf</a> サステナブル・シーフードが食べられるレストラン： <a href="https://www.wwf.or.jp/campaign/kasasu/restaurant.html">https://www.wwf.or.jp/campaign/kasasu/restaurant.html</a>	

(31)

対 象	農場／農畜産物	
名 称	G A P 認証 ①GLOBALG. A. P. ②ASIAGAP /JGAP	
管理団体	① FoodPlusGmbH ② 一般財団法人日本G A P 協会	
本 部 国	①ドイツ ②日本	
連絡窓口	① 一般社団法人G A P 普及推進機構： <a href="https://www.ggap.jp/?page_id=23">https://www.ggap.jp/?page_id=23</a> ② 一般社団法人日本G A P 協会： <a href="https://jgap.jp/contact/">https://jgap.jp/contact/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ G A P は、「Good Agricultural Practice」の頭文字をとった言葉で、農業生産工程管理の評価基準として 1990 年代にヨーロッパで始まったプログラム。</li><li>・ G A P に取り組むことで、食品の安全や、自然環境の保全、生産者の労働安全や人権の保護に配慮し、将来的に持続可能な農産物の供給の実現につながることを期待される。</li><li>・ G A P 認証とは、農業者が実施するG A P の取組を第三者認証機関が審査し証明する民間の認証制度。</li><li>・ 認証は3種類あり、欧州を中心に世界 120 カ国で活用されている「GLOBALG. A. P.」、日本の実情に即して開発された「JGAP」、JGAP をアジア共通の国際規格として発展させた「ASIAGAP」となっている。</li><li>・ 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における食材調達基準の要件にG A P 認証が取り上げられたことで重要性が認識され、持続可能性に配慮した農畜産物の普及拡大に向けて取組が進められている。</li></ul>	
参考 URL	これから始めるG A P： <a href="http://gap.maff.go.jp/">http://gap.maff.go.jp/</a> 農林水産省： <a href="https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/gap_certification.html">https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/gap_certification.html</a> 一般社団法人G A P 普及推進機構： <a href="https://www.ggap.jp/">https://www.ggap.jp/</a> 一般社団法人日本G A P 協会： <a href="https://jgap.jp/">https://jgap.jp/</a>	

(32)

対 象	宿泊施設、飲食店／レストラン	 <p>観光施設 心のバリアフリー認定</p> <p>【認定マーク】</p>
名 称	観光施設における心のバリアフリー認定制度（再掲）	
管理団体	観光庁	
本 部 国	日本	
連絡窓口	観光庁 観光産業課 観光施設における心のバリアフリー認定制度担当：hqt-kanko-bfnintei@mlit.go.jp	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「観光施設における心のバリアフリー認定制度」は、バリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組む姿勢のある観光施設を対象とした認定制度。</li><li>・ 観光施設のさらなるバリアフリー対応とその情報発信を支援し、高齢者や障がい者がより安全で快適な旅行をするための環境整備を推進するため、観光庁により 2020 年に創設された。</li><li>・ 認定対象は、宿泊施設、飲食店、観光案内所となっており、認定を受けた観光施設は、観光庁が定める認定マークを使用することができる。</li><li>・ 認定を受ける場合、下記の基準をすべて満たす必要がある。<ol style="list-style-type: none"><li>① 備品の備付け、貸出等により施設内の段差解消やコミュニケーションの円滑化を図る取組等施設のバリアフリー性能を補完するための措置を 3 つ以上行い、高齢者、障がい者等が施設を安全かつ円滑に利用できるような工夫を行っていること。</li><li>② 施設の従業員に対し、高齢者、障がい者等へのコミュニケーションやサポートの仕方に関する研修を実施すること等バリアフリーに関する教育訓練を年に 1 回以上行っていること。</li><li>③ 自らのウェブサイト以外のウェブサイトで、施設のバリアに関する情報などのバリアフリー情報を、積極的に発信していること。</li></ol></li></ul>	
参考 URL	観光施設における心のバリアフリー認定制度： <a href="https://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000491.html">https://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000491.html</a>	

※ 2. 宿泊施設に記載の内容と同じ

## 5. ガイド

ツアーガイドや取引先企業、現地ツアー会社などにおいて、その組織で働くスタッフが、持続可能な観光に関する知識や国際基準について適切な理解があることが望ましい。持続可能な観光にかかる旅行商品の造成を行う人材としても大きく役立つ事が期待できる。

(33)

対 象	ガイド	
名 称	GSTC Professional Certificate in Sustainable Tourism	
管理団体	Global Sustainable Tourism Council (G S T C)	
本 部 国	アメリカ	
連絡窓口	G S T Cメンバーシップコーディネーター <a href="mailto:emi@gstcouncil.org">emi@gstcouncil.org</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>2016年から始まった、G S T C基準についての研修プログラム (GSTC Sustainable Tourism Training Program (S T T P)) がある。</li> <li>G S T C研修プログラム (日本語/英語、対面/オンライン) 修了者のみが受験可能なテスト (英語) があり、合格者には、「GSTC Professional Certificate in Sustainable Tourism」の個人向け証書が発行される。オンラインテスト受験の費用は、USD75。(証書は、サステナビリティ・コーディネーター等の職務に関する資格ではない。)</li> <li>G S T C研修受講者及びテスト受験者は、持続可能性に関する適切な知識をもって、ツアー商品の造成やインタープリテーションにおいて、よりサステナブルな知識の提供や行動を旅行者にも促すことが期待でき、ガイド等の観光人材としての付加価値が高まる。</li> <li>名刺にも証書を個人として保有していることを記載できる (但し、英語表記のみ)。</li> </ul>	
参考 URL	証書について： <a href="https://www.gstcouncil.org/sustainable-tourism-training/certificate-in-sustainable-tourism">https://www.gstcouncil.org/sustainable-tourism-training/certificate-in-sustainable-tourism</a> G S T Cオンライン研修スケジュール (英語、スペイン語)： <a href="https://www.gstcouncil.org/sustainable-tourism-training/">https://www.gstcouncil.org/sustainable-tourism-training/</a>	

(34)

対 象	ガイド	 環境省 Ministry of the Environment
名 称	自然資源を活かすエコツーリズム・ インタープリテーション人材	
管理団体	環境省	
本 部 国	日本	
連絡窓口	公益社団法人日本環境教育フォーラム： <a href="https://www.jeef.or.jp/">https://www.jeef.or.jp/</a> 一般社団法人日本エコツーリズム協会： <a href="https://ecotourism.gr.jp/">https://ecotourism.gr.jp/</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自然資源を活かすエコツーリズム・ インタープリテーション人材育成は、環境省が「国立公園満喫プロジェクト」の一環として、2017年より実施している人材育成事業。</li><li>・ 国立公園に限らず全国において自然資源を活用して地域活性化に取り組む地域を対象に、国内外のニーズも踏まえながら、ビジターセンターなどの拠点施設のスタッフや体験プログラム、エコツアーなどを企画・実施する事業者やガイド、コーディネーターなど、地域における持続可能な仕組みの構築に向けた、キーマンとなる人材の育成支援を目的としている。</li><li>・ 本研修には、現場における解説業務（インタープリテーション）のスキルアップをはかり、インタープリテーション全体計画策定の手法も学ぶコース（Aコース）と、エコツーリズムを活かして地域を盛り上げるために、ツアーガイドや地域コーディネーターとしての能力向上を目的としたコース（Bコース）の2コースが設定されている。</li></ul>	
参考情報	令和3年度 自然資源を活かすエコツーリズム・ インタープリテーションの人材育成支援事業の参加地域募集について： <a href="https://www.env.go.jp/press/109933.html">https://www.env.go.jp/press/109933.html</a>	

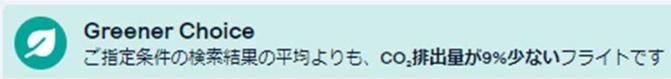
## 6. 脱炭素対策の取組

脱炭素対策については、その重要性を理解しつつも、具体的な取組方法に悩む企業が多い。全般的な産業界の脱炭素に向けた取組などを参考に、観光産業としてもいち早く取組を進めることが必要である。

(35)

対 象	全企業	
名 称	S B T (Science Based Targets)	
管理団体	C D P、国連グローバル・コンパクト、 W R I、W W F	
本 部 国	—	
連絡窓口	The Science Based Targets initiative (S B T i) : <a href="https://sciencebasedtargets.org/contact">https://sciencebasedtargets.org/contact</a>	
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015年、企業による温室効果ガス排出削減の支援を目的としてC D P (旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)、国連グローバル・コンパクト、世界資源研究所 (W R I)、W W F の共同イニシアティブとなる、S B T i (Science Based Targets initiative) が発表された。</li> <li>企業に対し、気候変動による世界の平均気温の上昇を、産業革命前と比べ1.5°Cに抑えるという目標 (S B T) に向けて、科学的知見と整合した削減目標を設定することを推進。</li> <li>環境省のグリーン・バリューチェーンプラットフォームの中で、申請、費用などについて日本語での説明があり、国内からも取り組みやすい。排出量に関するグローバルな基準となっており、特に投資家が投資する際の判断基準となっている。</li> <li>また、S B T に取り組む前段階として、気候変動イニシアティブ (J C I) というネットワークが国内に存在し、まずはJ C I に加盟し、他企業の事例を学びながらS B T に挑戦する事も可能。</li> </ul>	
参考 URL	グリーン・バリューチェーンプラットフォーム : <a href="https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/intr_trends.html">https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/intr_trends.html</a> S B T : <a href="https://sciencebasedtargets.org/">https://sciencebasedtargets.org/</a> S B T 加盟企業リスト : <a href="https://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action#table">https://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action#table</a> J C I : <a href="https://japanclimate.org/">https://japanclimate.org/</a> ※加盟は、企業、団体、自治体、学術団体などが対象。	

(36)

対 象	フライト (航空券)	
名 称	グリーナーチョイス	
管理団体	スカイスキャナー (CTrip)	
本 部 国	イギリス	
連絡窓口	Skyscanner Japan 株式会社 <a href="https://www.skyscanner.jp/">https://www.skyscanner.jp/</a>	
概 要	<p>・ 航空券などの比較予約サイトであるスカイスキャナーのグリーナーチョイスでは、旅行者が排出量の少ない航空券を選択する事が可能となっており、2019年以降 (※2021年12月まで)、6,800万人の旅行者が低炭素排出のフライトを選択している。</p> <p>▼ロゴイメージ</p> 	
参考 URL	<p>グリーナーチョイス : <a href="https://www.skyscanner.jp/environment">https://www.skyscanner.jp/environment</a> Skyscanner Japan 株式会社 : <a href="https://www.skyscanner.jp/media/company-details">https://www.skyscanner.jp/media/company-details</a></p> <p>(参考)</p> <p>カーボンオフセットツール例 :</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ANACO2 排出量の計算 (※ANA 便を利用しなくても、無料で使用が可能) : <a href="https://www.ana.bluedotgreen.co.jp/jp/home">https://www.ana.bluedotgreen.co.jp/jp/home</a></li><li>・ カルマカル : <a href="https://jarta.org/carmacal/">https://jarta.org/carmacal/</a></li></ul>	

### Ⅲ. おわりに

2020年に「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」を発表するなど、観光庁としては、持続可能な観光地域づくりの支援を進めているところ、地域が持続可能な観光地になるためには、観光産業全体の協力なしには達成する事ができない。

持続可能な観光にかかる旅行商品については、まだ国内においての事例や情報が少なく、商品造成に関する知見を得にくい状況にあると思料される。そのため、本書で紹介した認証ラベルや表彰制度などの情報を参考に、地域や関連事業者と協働しながら、持続可能な観光にかかる旅行商品の造成に、ぜひ意欲的に取り組み、先行事例を作り上げてもらいたい。

我が国が、持続可能な観光先進国を目指す上で、地域と旅行業者が持続可能性に配慮しながら協働することにより、より良い相乗効果を生みながら、我が国全体で持続可能な観光にかかる旅行商品が普及されることを願う。

[付録] 国内取得地域・国内取得企業一覧表

(2022年1月時点)

1. 観光地／観光資源		
(1) 日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)		
小樽市、一般社団法人小樽観光協会		2021年3月取得
一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメント		2021年3月取得
三浦半島観光連絡協議会		2021年3月取得
京都市		2021年3月取得
釜石市、株式会社かまいしDMC		2021年4月取得
四国ツーリズム創造機構		2021年7月取得
東松島市		2021年8月取得
阿蘇市		2021年12月取得
一般社団法人秋田犬ツーリズム		2022年1月取得
(2) ① Green Destinations Top 100 Stories (TOP100) ② Green Destinations Awards & Certification program		
阿蘇市 (熊本県)		TOP100 2021
奄美大島 (鹿児島県)		TOP100 2021
沖縄県		TOP100 2020
釜石市 (岩手県)		ブロンズ賞 TOP100 2018, 2019, 2020, 2021
京都市 (京都府)		TOP100 2020, 2021
佐渡市 (新潟県)		TOP100 2021
小豆島町 (香川県)		TOP100 2021
白川村 (岐阜県)		TOP100 2020
豊岡市 (兵庫県)		TOP100 2021
長良川流域 (岐阜県)		TOP100 2021
那須塩原市 (栃木県)		TOP100 2021
七尾市・中能登町 (石川県)		TOP100 2021
ニセコ町 (北海道)		TOP100 2020, 2021
三浦半島 (神奈川県)		TOP100 2020
与論島 (鹿児島県)		TOP100 2021
(3) The EarthCheck Sustainable Destinations Program		
国内に該当なし		※ 海外では、ポルトガル、スウェーデン、メキシコ、ニュージーランド、

		アイスランド、アメリカ、オーストラリア 等
(4) GSTC certification / ビレオ		
国内に該当なし		※ 海外では、イタリア、モルジブ、オーストリア、クロアチア 等
(5) ブルーフラッグ		
由比ガ浜海水浴場 (神奈川県)		
若狭和田海水浴場 (福井県)		
須磨海水浴場 (兵庫県)		
本須賀海水浴場 (千葉県)		
片瀬西浜鵜沼海水浴場 (神奈川県)		
(6) グリーンフィンズ		
海先案内人 シートラスト沖縄		
ANA インターコンチネンタル万座ビーチリゾート		
沖縄青の洞窟ていん		
沖縄ダイビングサービス Lagoon		
Second Station 沖縄店		
ダイブセンターアイルズ		
D. S. ARCHANGEL		
テイクダイブ		
トゥルーノース		
ナチュラルブルー		
ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランド 沖縄		
ハレクラニ沖縄		
ピンクマーリンクラブ		
ブルーオーシャン		
Pro Scuba Team SEALs		
ベントスダイバーズ		
Voice Plus		
マリクラブナギ		
マリントリップ沖縄		
マリンサービスむるぬーし		
ダイビングショップ レイ		

(7) ダークスカイプレイス・プログラム (和名：星空保護区認定制度)		
西表石垣国立公園 (沖縄県・八重山諸島)		ダークスカイ・パーク 2018年認定
神津島 (東京都)		ダークスカイ・アイランド 2020年認定
岡山県井原市美星町		ダークスカイ・コミュニティ 2021年認定
(8) ジオパーク		
洞爺湖有珠山 (北海道)		ユネスコ世界ジオパーク 2009年認定
アポイ岳 (北海道)		ユネスコ世界ジオパーク 2015年認定
糸魚川 (新潟県)		ユネスコ世界ジオパーク 2009年認定
隠岐 (島根県)		ユネスコ世界ジオパーク 2013年認定
山陰海岸 (兵庫県、京都府、鳥取県)		ユネスコ世界ジオパーク 2010年認定
室戸 (高知県)		ユネスコ世界ジオパーク 2011年認定
島原半島 (長崎県)		ユネスコ世界ジオパーク 2009年認定
阿蘇 (熊本県)		ユネスコ世界ジオパーク 2014年認定
伊豆半島 (静岡県)		ユネスコ世界ジオパーク 2018年認定
白滝 (北海道)		日本ジオパーク 2010年認定
三笠 (北海道)		日本ジオパーク 2013年認定
とちち鹿追 (北海道)		日本ジオパーク 2013年認定
下北 (青森県)		日本ジオパーク 2016年認定
八峰白神 (秋田県)		日本ジオパーク 2012年認定
男鹿半島・大瀧 (秋田県)		日本ジオパーク 2011年認定
三陸 (青森県、岩手県、宮城県)		日本ジオパーク 2013年認定
鳥海山・飛鳥 (山形県、秋田県)		日本ジオパーク 2016年認定
ゆざわ (秋田県)		日本ジオパーク 2012年認定
栗駒山麓 (宮城県)		日本ジオパーク 2015年認定

	佐渡（新潟県）	日本ジオパーク 2013年認定
	磐梯山（福島県）	日本ジオパーク 2011年認定
	苗場山麓（新潟県、長野県）	日本ジオパーク 2014年認定
	立山黒部（富山県）	日本ジオパーク 2014年認定
	浅間山北麓（群馬県）	日本ジオパーク 2016年認定
	白山手取川（石川県）	日本ジオパーク 2011年認定
	下仁田（群馬県）	日本ジオパーク 2011年認定
	恐竜渓谷ふくい勝山（福井県）	日本ジオパーク 2009年認定
	筑波山地域（茨城県）	日本ジオパーク 2016年認定
	秩父（埼玉県）	日本ジオパーク 2011年認定
	南アルプス（中央構造線エリア）（長野県）	日本ジオパーク 2008年認定
	銚子（千葉県）	日本ジオパーク 2012年認定
	箱根（神奈川県）	日本ジオパーク 2012年認定
	伊豆大島（東京都）	日本ジオパーク 2010年認定
	Mine 秋吉台（山口県）	日本ジオパーク 2015年認定
	おおいた姫島（大分県）	日本ジオパーク 2013年認定
	南紀熊野（和歌山県、奈良県）	日本ジオパーク 2014年認定
	四国西予（愛媛県）	日本ジオパーク 2013年認定
	おおいた豊後大野（大分県）	日本ジオパーク 2013年認定
	霧島（鹿児島県、宮崎県）	日本ジオパーク 2010年認定
	桜島・錦江湾（鹿児島県）	日本ジオパーク 2021年認定
	三島村・鬼界カルデラ（鹿児島県）	日本ジオパーク 2015年認定
	島根半島・宍道湖中海（島根県）	日本ジオパーク 2017年認定
	萩（山口県）	日本ジオパーク 2018年認定
	土佐清水（高知県）	日本ジオパーク 2021年認定
	十勝岳（北海道）	日本ジオパーク 2022年認定
	五島列島（下五島エリア）（長崎県）	日本ジオパーク 2022年認定
(9) 世界遺産		
	法隆寺地域の仏教建造物（奈良県）	1993年登録（文化）
	姫路城（兵庫県）	1993年登録（文化）
	屋久島（鹿児島県）	1993年登録（自然）
	白神山地（青森県、秋田県）	1993年登録（自然）
	古都京都の文化財（京都府、滋賀県）	1994年登録（文化）
	白川郷・五箇山の合掌造り集落（岐阜県、富山県）	1995年登録（文化）

	原爆ドーム（広島県）	1996年登録（文化）
	厳島神社（広島県）	1996年登録（文化）
	古都奈良の文化財（奈良県）	1998年登録（文化）
	日光の社寺（栃木県）	1999年登録（文化）
	琉球王国のグスク及び関連遺産群（沖縄県）	2000年登録（文化）
	紀伊山地の霊場と参詣道（三重県、奈良県、和歌山県）	2004年登録（文化）
	知床（北海道）	2005年登録（自然）
	石見銀山遺跡とその文化的景観（島根県）	2007年登録（文化）
	小笠原諸島（東京都）	2011年登録（自然）
	平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群（岩手県）	2011年登録（文化）
	富士山－信仰の対象と芸術の源泉（静岡県、山梨県）	2013年登録（文化）
	富岡製糸場と絹産業遺産群（群馬県）	2014年登録（文化）
	明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、山口県、岩手県、静岡県）	2015年登録（文化）
	国立西洋美術館本館（東京都） （注）7か国（日本、フランス、アルゼンチン、ベルギー、ドイツ、インド、スイス）にまたがる「ル・コルビュジエの建築作品－近代建築運動への顕著な貢献－」の構成資産の一つ。	2016年登録（文化）
	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群（福岡県）	2017年登録（文化）
	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産（長崎県）	2018年登録（文化）
	百舌鳥・古市古墳群－古代日本の墳墓群－（大阪府）	2019年登録（文化）
	奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島（鹿児島県、沖縄県）	2021年登録（自然）
	北海道・北東北の縄文遺跡群（北海道、青森県、岩手県、秋田県）	2021年登録（文化）
(10) 日本遺産		

近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源— (栃木県・茨城県・岡山県・大分県)	2015年認定
かかあ天下—ぐんまの絹物語— (群馬県)	2015年認定
加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡—人、技、心— (富山県)	2015年認定
灯(あか)り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～ (石川県)	2015年認定
海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国(みけつくに) 若狭と鯖街道～ (福井県)	2015年認定
「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜 (岐阜県)	2015年認定
祈る皇女斎王のみやこ 斎宮 (三重県)	2015年認定
琵琶湖とその水辺景観-祈りと暮らしの水遺産 (滋賀県)	2015年認定
日本茶 800年の歴史散歩 (京都府)	2015年認定
丹波篠山デカンショ節-民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶- (兵庫県)	2015年認定
日本国創成のとき～飛鳥を翔(かけ)た女性たち～ (奈良県)	2015年認定
六根清浄と六感治癒の地～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～ (鳥取県)	2015年認定
津和野今昔～百景図を歩く～ (島根県)	2015年認定
尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市 (広島県)	2015年認定
「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～ (愛媛県・高知県・徳島県・香川県)	2015年認定
古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～ (福岡県)	2015年認定
国境の島 老岐・対馬・五島～古代からの架け橋～ (長崎県)	2015年認定
相良 700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里-人吉球磨～ (熊本県)	2015年認定
政宗が育んだ“伊達”な文化 (宮城県)	2016年認定

自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』～樹齢 300 年を超える杉並木につつまれた 2,446 段の石段から始まる出羽三山～（山形県）	2016 年認定
会津の三十三観音めぐり～巡礼を通して観た往時の会津の文化～（福島県）	2016 年認定
未来を拓いた「一本の水路」-大久保利通 “最期の夢” と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代-（福島県）	2016 年認定
「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」-佐倉・成田・佐原・銚子：百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群-（千葉県）	2016 年認定
江戸庶民の信仰と行楽の地～巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～（神奈川県）	2016 年認定
「いざ、鎌倉」～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～（神奈川県）	2016 年認定
「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化（新潟県）	2016 年認定
『珠玉と歩む物語』小松～時の流れの中で磨き上げた石の文化～（石川県）	2016 年認定
木曾路はすべて山の中～山を守り 山に生きる～（長野県）	2016 年認定
飛騨匠の技・ころも-木とともに、今に引き継ぐ 1300 年-（岐阜県）	2016 年認定
『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」～古代国家を支えた海人の営み～（兵庫県）	2016 年認定
森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとところ～美林連なる造林発祥の地“吉野”～（奈良県）	2016 年認定
鯨とともに生きる（和歌山県）	2016 年認定
地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市（鳥取県）	2016 年認定
出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～（島根県）	2016 年認定
鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～（広島県・神奈川県・長崎県・京都府）	2016 年認定

“日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島-よみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶-(愛媛県・広島県)	2016年認定
日本磁器のふるさと 肥前～百花繚乱のやきもの散歩～(佐賀県・長崎県)	2016年認定
江差の五月は江戸にもないーニシンの繁栄が息づく町ー(北海道)	2017年認定
荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～(北海道・青森県・秋田県・山形県・新潟県・富山県・石川県・福井県・京都府・大阪府・兵庫県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・香川県)	2017年認定
サムライゆかりのシルク日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ(山形県)	2017年認定
和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田(埼玉県)	2017年認定
忍びの里 伊賀・甲賀ーリアル忍者を求めてー(滋賀県・三重県)	2017年認定
300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊(京都府)	2017年認定
1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」～竹内街道・横大路(大道)～(大阪府・奈良県)	2017年認定
播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～(兵庫県)	2017年認定
絶景の宝庫 和歌の浦(和歌山県)	2017年認定
「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅(和歌山県)	2017年認定
日が沈む聖地出雲～神が創り出した地の夕日を巡る～(島根県)	2017年認定
一輪の綿花から始まる倉敷物語～和と洋が織りなす繊維のまち～(岡山県)	2017年認定
きっと恋する六古窯ー日本生まれ日本育ちのやきもの産地ー(岡山県・福井県・愛知県・滋賀県・兵庫県)	2017年認定

森林鉄道から日本一のゆずロードへーゆずが 香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化ー (高知県)	2017年認定
関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近 代化の記憶～(福岡県・山口県)	2017年認定
米作り、二千年にわたる大地の記憶～菊池川流 域「今昔『水稲』物語」～(熊本県)	2017年認定
やばけい遊覧～大地に描いた山水絵巻の道を ゆく～(大分県)	2017年認定
カムイと共に生きる上川アイヌ～大雪山のふ ところに伝承される神々の世界～(北海道)	2018年認定
山寺が支えた紅花文化(山形県)	2018年認定
地下迷宮の秘密を探る旅～大谷石文化が息づ くまち宇都宮～(栃木県)	2018年認定
明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫 譚～(栃木県)	2018年認定
宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井 波(富山県)	2018年認定
葡萄畑が織りなす風景-山梨県峡東地域-(山梨 県)	2018年認定
星降る中部高地の縄文世界-数千年を遡る黒曜 石鉱山と縄文人に出会う旅-(長野県・山梨県)	2018年認定
旅人たちの足跡残る悠久の石畳道-箱根八里で 辿る遙かな江戸の旅路-(静岡県・神奈川県)	2018年認定
「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広 川の防災遺産～(和歌山県)	2018年認定
「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま～古 代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～(岡山県)	2018年認定
瀬戸の夕風が包む 国内随一の近世港町～セ ピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～(広島 県)	2018年認定
鬼が仏になった里「くにさき」(大分県)	2018年認定
古代人のモニュメント-台地に絵を描く 南国 宮崎の古墳景観-(宮崎県)	2018年認定
本邦国策を北海道に観よ！～北の産業革命「炭 鉄港」～(北海道)	2019年認定

みちのく GOLD 浪漫-黄金の国ジパング、産金は じまりの地をたどる- (宮城県・岩手県)	2019年認定
里沼 (SATO-NUMA) - 「祈り」 「実り」 「守り」 の沼が磨き上げた館林の沼辺文化- (群馬県)	2019年認定
400年の歴史の扉を開ける旅～石から読み解く 中世・近世のまちづくり 越前・福井～ (福井県)	2019年認定
江戸時代の情緒に触れる絞りの産地～藍染が 風にゆれる町 有松～ (愛知県)	2019年認定
海女 (Ama) に出逢えるまち 鳥羽・志摩～素潜り 漁に生きる女性たち～ (三重県)	2019年認定
1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所 観音巡礼～ (滋賀県・岐阜県・京都府・大阪府・ 兵庫県・奈良県・和歌山県)	2019年認定
旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根 荘の風景— (大阪府)	2019年認定
中世に出逢えるまち～千年にわたり護られて きた中世文化遺産の宝庫～ (大阪府)	2019年認定
「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂 (兵庫 県)	2019年認定
日本海の風が生んだ絶景と秘境—日本海の風 が生んだ絶景と秘境幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞 う大地「因幡・但馬」 (鳥取県・兵庫県)	2019年認定
神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地 域で伝承される神楽～ (島根県)	2019年認定
知ってる! ?悠久の時間が流れる石の島～海を越 え、日本の礎を築いた せとうち備讃諸島～ (岡 山県・香川県)	2019年認定
藍のふるさと 阿波～日本中を染め上げた至 高の青を訪ねて～ (徳島県)	2019年認定
薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩 く～ (鹿児島県)	2019年認定
琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な 「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」 (沖 縄県)	2019年認定
「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程～ (北海道)	2020年認定

” 奥南部” 漆物語～安比川流域に受け継がれる 伝統技術～（岩手県）	2020 年認定
日本ワイン 140 年史～国産ブドウで醸造する和 文化の結晶～（茨城県・山梨県）	2020 年認定
かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～（栃 木県・茨城県）	2020 年認定
霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物 語～（東京都）	2020 年認定
究極の雪国とおかまち一真説！豪雪地ものが たりー（新潟県）	2020 年認定
海を越えた鉄道～世界へつながる 鉄道のキ セキ～（福井県・滋賀県）	2020 年認定
甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡～水晶の鼓動が導 いた信仰と技、そして先進技術へ～（山梨県）	2020 年認定
月の都 千曲ー姨捨の棚田がつくる摩訶不思 議な月景色「田毎の月」ー（長野県）	2020 年認定
レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」～龍 と生きるまち 信州上田・塩田平～（長野県）	2020 年認定
日本初「旅ブーム」を起こした弥次さん喜多さ ん、駿州の旅 ～滑稽本と浮世絵が描く東海道 旅のガイドブック（道中記）～（静岡県）	2020 年認定
京都と大津を繋ぐ希望の水路 琵琶湖疏水～ 舟に乗り、歩いて触れる明治のひとつとき～（京 都府・滋賀県）	2020 年認定
女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、 時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～（大阪 府・奈良県・和歌山県）	2020 年認定
「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ 銘醸地、伊丹と灘五郷（兵庫県）	2020 年認定
もう、すべらせない！！～龍田古道の心臓部 「亀の瀬」を越えてゆけ～（奈良県・大阪府）	2020 年認定
「葛城修験」ー里人とともに守り伝える修験道 はじまりの地ー（和歌山県・大阪府・奈良県）	2020 年認定
中世日本の傑作 益田を味わうー地方の時代に 輝き再びー（島根県）	2020 年認定

石見の火山が伝える悠久の歴史～” 縄文の森” ” 銀の山” と出逢える旅へ～（島根県）	2020年認定
「ジャパンレッド」発祥の地－弁柄と銅の町・備中吹屋－（岡山県）	2020年認定
砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～（長崎県・福岡県・佐賀県）	2020年認定
八代を創造した石工たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー～（熊本県）	2020年認定
<b>2. 宿泊施設</b>	
<b>(11) GSTC certification／コントロールユニオン</b>	
国内に該当なし	
<b>(12) GSTC certification／ビューローベリタス</b>	
国内に該当なし	
<b>(13) GSTC certification／ビレオ</b>	
国内に該当なし	
<b>(14) GSTC certification／ユナイテッドサティフィケーションシステムズ</b>	
国内に該当なし	
<b>(15) グリーンキー</b>	
ホテルリッチ&ガーデン酒田（山形県）	2009年取得
別邸 仙寿庵（群馬県）	2018年取得
扉温泉明神館（長野県）	2009年取得
<b>(16) Green Globe Certification</b>	
クラブメッド カビラ（石垣島）	
クラブメッド トナム（北海道）	
クラブメッド サホロ（北海道）	
<b>(17) ユネスコ・サステナブルツーリズムの誓約</b>	
ゼボラリゾート - タイ、ピピ島（株ウェッジホールディングスが所有）	
※ 全世界で企業規模問わず、4,200ものホテルが加盟をしている。	
<b>(18) 世界観光倫理憲章</b>	
（株）西村屋（兵庫県）	2019年署名
（株）ピッキオ（長野県）	2019年署名
（株）滝の湯ホテル（山形県）	2019年署名
鶴雅ホールディングス（株）（北海道）	2019年署名

(株)湯元館 (滋賀県)	2019 年署名
(19) サクラクオリティ	
ザ ロイヤルパーク キャンパス 札幌大通公園 (北海道)	サクラクオリティ認証 2.5
めぐみ雪 (北海道)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ロジニセコベアーズ (北海道)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ニセコ 峙 (北海道)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ニセコ昆布温泉 鶴雅別荘 奎の抄 (北海道)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
十勝岳温泉 凌雲閣 (北海道)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
仙台ロイヤルパークホテル (宮城県)	サクラクオリティ認証 3.5
日光千姫物語 (栃木県)	サクラクオリティ認証 3
上牧温泉 辰巳館 (群馬県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
別邸 仙寿庵 (群馬県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
法師温泉 長寿館 (群馬県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
旅館たにがわ (群馬県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
旅館松屋 (群馬県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
蛍雪の宿 尚文 (群馬県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
シャレー・ラ・ネージュ (群馬県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
小さなホテル セラヴィ (埼玉県)	サクラクオリティ認証 3.5
名栗温泉 大松閣 (埼玉県)	サクラクオリティ認証 3
ロイヤルパークホテル (東京都)	サクラクオリティ認証 3.5
ザ ロイヤルパーク キャンパス 銀座8 (東京都)	サクラクオリティ認証 2.5

ザ ロイヤルパークホテル アイコニック東京 汐留（東京都）	サクラクオリティ認証 3
ザ ロイヤルパークホテル 東京羽田（東京都）	サクラクオリティ認証 3
横浜ロイヤルパークホテル（神奈川県）	サクラクオリティ認証 3.5
新潟第一ホテル（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
光兎（こうさぎ）の宿 あらかわ荘（新潟県）	サクラクオリティ認証 2
ホテル小柳（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
三条ロイヤルホテル（新潟県）	サクラクオリティ認証 1.5
四季の宿 みのや（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
佐渡グリーンホテルきらく（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
佐取館（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
佐渡リゾートホテル吾妻（新潟県）	サクラクオリティ認証 2
旅館 初音（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ホテルセンチュリーイカヤ（新潟県）	サクラクオリティ認証 2
越後長野温泉 嵐溪荘（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
農家民宿うしだ屋（新潟県）	サクラクオリティ認証 2
ロイヤルホテル小林（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ホテル太閤（新潟県）	サクラクオリティ認証 2
汐彩の湯 みかく（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
妙高・山里の湯宿 香風館（新潟県）	サクラクオリティ認証 2
蓬平温泉 和泉屋（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
お宿ふるや（新潟県）	サクラクオリティ認証 2
村杉温泉 角屋旅館（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
旅館おかやま（新潟県）	サクラクオリティ認証 2

越後乃お宿 わか竹 (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
親不知観光ホテル (新潟県)	サクラクオリティ認証 2
鷹の巣館 (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
赤倉ホテル (新潟県)	サクラクオリティ認証 2
五頭今板温泉 湯本館 (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
高台の宿 三景 (新潟県)	サクラクオリティ認証 2
村杉温泉 長生館 (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
美味探求の宿 住吉屋 (新潟県)	サクラクオリティ認証 2
弥彦温泉 割烹の宿 櫻家 (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ロイヤル胎内パークホテル (新潟県)	サクラクオリティ認証 2
新潟東映ホテル (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
阿賀のめぐみ 望川閣 (新潟県)	サクラクオリティ認証 2
松之山温泉 凌雲閣 (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
Ryokan 浦島 (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
旬彩の庄 坂戸城 (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
松之山温泉 和泉屋 (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ホテル志い屋 (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
清津館 (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
雪国の宿 高半 (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
湖畔の宿 吉田家 (新潟県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示

大観荘 せなみの湯 (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
ホテル双葉 (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
国際佐渡観光ホテル 八幡館 (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
月岡温泉 ホテルひさご荘 (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
越後湯沢温泉 湯沢東映ホテル (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
高志の宿 高島屋 (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
ホテル清風苑 (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
NASPA ニューオータニ (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
湯元眺望閣 湯居間蔵 (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
木のぬくもりの宿 濱松屋 (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
SADO ニツ亀ビューホテル (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
湯沢グランドホテル (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
ロッヂ政エ門 (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
KKR 湯沢ゆきぐに (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
湯沢ニューオータニ (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
花とほたる 湯の里 雪国 (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
松之山温泉 ひなの宿ちとせ (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
本陣さくら亭 (新潟県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示

自在館（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
越後のお宿 いなもと（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
旅館明星（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
石打ユングパルナス（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
越後田中温泉 しなの荘（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
松之山温泉 野本旅館（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
湯沢スキーハウス（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
越後湯澤 HATAGO 井仙（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
里山十帖（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
友家ホテル（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
音羽屋旅館（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
和みのお宿 滝乃湯（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
湯元庄屋 和泉屋旅館（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
酒の宿 玉城屋（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
両津やまきホテル（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
ニューグリーンピア津南（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
山の森のホテル ふくずみ（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
新潟/岩室温泉 ゆもとや（新潟県）	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示

ラ・ファミーユ中角（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
松泉閣 花月（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
新潟県岩室温泉 小さなお宿 小松屋（新潟 県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
温泉民宿 高野屋（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
摩周（新潟県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ryugon（新潟県）	サクラクオリティ認証 4
ホテル大佐渡（新潟県）	サクラクオリティ認証 2
北陸福井あわら温泉 美松（福井県）	サクラクオリティ認証 2
ハイランドリゾート ホテル&スパ（山梨県）	サクラクオリティ認証 3
甲斐の里・名湯 南八ヶ岳温泉郷 若神楼（山 梨県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ゲストハウス ブルーイングリーン（山梨県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
キッズペンション めーぷる（山梨県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
オーチャードハウス（山梨県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
牧場通りの小さな旅籠 オーベルジュ（山梨県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
オールドエイジ（山梨県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ハット・ウォールデン（山梨県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
清里高原ハイランドホテル（山梨県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
八ヶ岳グレイスホテル（長野県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ホテル八峯苑 鹿の湯（長野県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示

サインポスト（長野県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
石苔亭いしだ（長野県）	サクラクオリティ認証 3
昼神グランドホテル天心（長野県）	サクラクオリティ認証 2.5
水明館（岐阜県）	サクラクオリティ認証 3
ホテルアソシア高山リゾート（岐阜県）	サクラクオリティ認証 3
ホテルコンコルド浜松（静岡県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ホテルウェルシーズン浜名湖（静岡県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ホテル九重（静岡県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
館山寺サゴロイヤルホテル（静岡県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
時わすれ開華亭（静岡県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ホテルアセントプラザ浜松（静岡県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
山水館欣龍（静岡県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ザ ロイヤルパーク キャンパス 名古屋（愛知 県）	サクラクオリティ認証 2.5
名古屋 JR ゲートタワーホテル（愛知県）	サクラクオリティ認証 3
ホテルアソシア豊橋（愛知県）	サクラクオリティ認証 3
ストリングスホテル 名古屋（愛知県）	サクラクオリティ認証 3
風の谷の庵（愛知県）	サクラクオリティ認証 3
和のリゾートはづ（愛知県）	サクラクオリティ認証 2
蒲郡ホテル（愛知県）	サクラクオリティ認証 2
東海シティホテル（愛知県）	サクラクオリティ認証 2
愛知渥美半島 魚と貝のうまい店 お食事・旅 館 玉川（愛知県）	サクラクオリティ認証 2
ホテル明山荘（愛知県）	サクラクオリティ認証 2
豊川グランドホテル（愛知県）	サクラクオリティ認証 2
J・ホテル りんくう（愛知県）	サクラクオリティ認証 2
ホテル松風（愛知県）	サクラクオリティ認証 2

蒲郡クラシックホテル（愛知県）	サクラクオリティ認証 3
フォーポイントバイシェラトン名古屋 中部国際空港（愛知県）	サクラクオリティ認証 2
豊田プレステージホテル（愛知県）	サクラクオリティ認証 2
平野屋（愛知県）	サクラクオリティ認証 2
プラザホテル豊田（愛知県）	サクラクオリティ認証 2
尾張温泉郷 湯元館（愛知県）	サクラクオリティ認証 2
旬景浪漫 銀波荘（愛知県）	サクラクオリティ認証 3
ザ ロイヤルパーク キャンパス 京都二条（京都府）	サクラクオリティ認証 2.5
ザ ロイヤルパークホテル 京都四条（京都府）	サクラクオリティ認証 3
ザ ロイヤルパークホテル 京都三条（京都府）	サクラクオリティ認証 3
ザ ロイヤルパークホテル 京都梅小路（京都府）	サクラクオリティ認証 3
水辺のホテル 小さな白い花（京都府）	サクラクオリティ認証 サクラ数非開示
福知山アークホテル（京都府）	サクラクオリティ認証 サクラ数非開示
海舟（京都府）	サクラクオリティ認証 サクラ数非開示
離れの宿 和楽（京都府）	サクラクオリティ認証 サクラ数非開示
対橋楼（京都府）	サクラクオリティ認証 サクラ数非開示
ザ・サウザンド キョウト（京都府）	サクラクオリティ認証 4
ザ ロイヤルパーク キャンパス 大阪北浜（大阪府）	サクラクオリティ認証 2.5
ザ ロイヤルパークホテル アイコニック大阪御堂筋（大阪府）	サクラクオリティ認証 3
ザ ロイヤルパーク キャンパス 神戸三宮（兵庫県）	サクラクオリティ認証 2.5
旅館 大橋（鳥取県）	サクラクオリティ認証 3
旅館のがわや（島根県）	サクラクオリティ認証 2.5
金城観光ホテル（島根県）	サクラクオリティ認証 2
旅館ますや（島根県）	サクラクオリティ認証 2

倉敷ステーションホテル (岡山県)	サクラクオリティ認証 2
ザ・ホテルリマーニ&スパ (岡山県)	サクラクオリティ認証 3
ザ ロイヤルパークホテル 広島リバーサイド (広島県)	サクラクオリティ認証 3
宮島 離れの宿 IBUKU (広島県)	サクラクオリティ認証 3
和の宿 祖谷温泉 (徳島県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
新祖谷温泉 ホテルかずら橋 (徳島県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
湊谷の隠れ宿 祖谷美人 (徳島県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
祖谷溪温泉 ホテル秘境の湯 (徳島県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
いやしの温泉郷 (徳島県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
サンリバー大歩危 (徳島県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
峡谷の湯宿 大歩危峡まんなか (徳島県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
清流の郷ブルーヴィラあなぶき (徳島県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ホテルニュー海風 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
花樹海 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
リゾートホテルオリビアン小豆島 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
琴平グランドホテル 桜の抄 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
チサンランド高松 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
島宿真里 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ロイヤルパークホテル高松 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示

湯元こんぴら温泉華の湯 紅梅亭 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
リーガホテルゼスト高松 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ゲストハウスまどか (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
宇多津グランドホテル (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ゲストハウス若葉屋 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
琴平パークホテル (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
瓦町ドミトリー (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
高松国際ホテル (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
J R ホテルクレメント高松 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
坂出グランドホテル (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
大江戸温泉物語 ホテルレオマの森 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
小豆島国際ホテル (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
高松シティホテル (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ホテル福屋 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
オーキドホテル (香川県)	サクラクオリティ認証 2
こんぴら温泉貸切湯の宿 ことね (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ことひら温泉 琴参閣 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
こんぴら温泉 湯元八千代 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示

ベイリゾートホテル小豆島 (香川県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ザ ロイヤルパークホテル 福岡 (福岡県)	サクラクオリティ認証 3
対馬グランドホテル (長崎県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
カンパーナホテル (長崎県)	サクラクオリティ認証 2
GOTO TSUBAKI HOTEL (長崎県)	サクラクオリティ認証 2
ANA クラウンプラザホテル長崎グラバーヒル (長崎県)	サクラクオリティ認証 2
ザ・ホテル長崎 BW プレミアコレクション (長崎 県)	サクラクオリティ認証 3
OYO させぼパレスホテル (長崎県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
雲仙温泉 青雲荘 (長崎県)	サクラクオリティ認証 2
お宿 TSURUYA (長崎県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
長崎 稲佐山観光ホテル (長崎県)	サクラクオリティ認証 3
先小路 (長崎県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
I+LAND NAGASAKI アイランドナガサキ (長崎県)	サクラクオリティ認証 2
鮑集 (長崎県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート (長崎 県)	サクラクオリティ認証 3
親家 (長崎県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
長崎バスターミナルホテル (長崎県)	サクラクオリティ認証 2
一期庵 (長崎県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
民宿 繁屋 千賀荘 (長崎県)	サクラクオリティ認証 2
一会庵 (長崎県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
雲仙みかどホテル (長崎県)	サクラクオリティ認証 2
日月庵 (長崎県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示

ホテルベルビュー長崎出島（長崎県）	サクラクオリティ認証 2
にししょうかん別邸紅葉亭（長崎県）	サクラクオリティ認証 2
ホテルクオーレ長崎駅前（長崎県）	サクラクオリティ認証 2
にししょうかん新館梅松鶴（長崎県）	サクラクオリティ認証 2
ホテルブリスヴィラ波佐見（長崎県）	サクラクオリティ認証 2
奥壱岐の千年湯 平山旅館（長崎県）	サクラクオリティ認証 2
ホテルウイング・ポート長崎（長崎県）	サクラクオリティ認証 2
旅館 國崎（長崎県）	サクラクオリティ認証 2.5
ルークプラザホテル（長崎県）	サクラクオリティ認証 3
ホテルニュー長崎（長崎県）	サクラクオリティ認証 3
民芸モダンの宿 雲仙福田屋（長崎県）	サクラクオリティ認証 2
ホテル日航ハウステンボス（長崎県）	サクラクオリティ認証 2
ゆやど 雲仙新湯（長崎県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
木魂館（熊本県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
阿蘇白水温泉 瑠璃（熊本県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
南阿蘇久木野温泉 四季の森（熊本県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
旅館 壱の井（熊本県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
黒川温泉 夢龍胆（ゆめりんどう）（熊本県）	サクラクオリティ認証 2
アーデンホテル阿蘇（熊本県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
阿蘇乃やまぼうし（熊本県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
黒川温泉 歴史の宿 御客屋（熊本県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
阿蘇内牧温泉 旅館 親和苑（熊本県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
阿蘇内牧温泉 蘇山郷（熊本県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
阿蘇内牧温泉 湯の宿 入船（熊本県）	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示

阿蘇内牧温泉 湯巡追荘 (熊本県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
旅館 みな和 (熊本県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
旅館 わかば (熊本県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
旅館 山河 (熊本県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
旅館 竹楽亭 (熊本県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
豊礼の宿 (熊本県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
杖立温泉 米屋別荘 (熊本県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
森の駅 どんぐり (熊本県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
ホテルシーウェーブ別府 (大分県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
宿房翡翠之庄 The Kingfisher resort (大分県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
シーサイドホテル美松 大江亭 (大分県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
天空湯房 清海荘 (大分県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
ホテル ヴィラ・くにさき (大分県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
ホテルベイグランド国東 (大分県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
ホテル別府パストラル (大分県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
津房館 (大分県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
住吉浜リゾートパーク マリンホテル (大分県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示
美湯の宿 両築別邸 (大分県)	サクラクオリティ認証 開示	サクラ数非 開示

竹と椿のお宿 花べっふ (大分県)	サクラクオリティ認証 2
汽車ポッポ (大分県)	サクラクオリティ認証 2
高千穂 離れの宿 神隠れ (宮崎県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
民宿 まろうど (宮崎県)	サクラクオリティ認証 サクラ数非 開示
<b>(20) W E L L 認証</b>	
GOOD NATURE HOTEL 京都 (京都府)	ゴールド 2020 年取得
<b>(21) L E E D 認証</b>	
ホテル コレクティブ (沖縄県)	標準認証 (Certified) 2021 年取得
新風館 (京都府)	シルバー 2020 年取得
グッドネイチャーステーション (京都府)	シルバー 2020 年取得
ハイアット セントリック 金沢 (石川県)	シルバー 2020 年取得
<b>(22) 観光施設における心のバリアフリー認定制度</b>	
キキ知床 ナチュラルリゾート (北海道)	2021 年取得
北こぶし知床 ホテル&リゾート (北海道)	2021 年取得
京王プラザホテル札幌 (北海道)	2021 年取得
センチュリーマリーナ函館 (北海道)	2021 年取得
札幌グランドホテル (北海道)	2021 年取得
札幌パークホテル (北海道)	2021 年取得
スパ&ホテルリゾートふらのラテール (北海道)	2021 年取得
和風旅館扇松園 (北海道)	2021 年取得
ヘルシーパル赤城 (群馬県)	2021 年取得
ホテル松本楼 (群馬県)	2021 年取得
浦和ワシントンホテル (埼玉県)	2021 年取得
割烹旅館 清都 (千葉県)	2021 年取得
鴨川ユニバースホテル (千葉県)	2021 年取得
京成ホテルミラマーレ (千葉県)	2021 年取得
渓谷別庭 もちの木 (千葉県)	2021 年取得
旅館かわな (千葉県)	2021 年取得
京王プラザホテル (東京都)	2021 年取得
京王プラザホテル多摩 (東京都)	2021 年取得
京王プラザホテル八王子 (東京都)	2021 年取得

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル（神奈川県）	2021 年取得
ホテル太閤（新潟県）	2021 年取得
ANA クラウンプラザホテル金沢（石川県）	2021 年取得
加賀屋（石川県）	2021 年取得
茶寮の宿 あえの風（石川県）	2021 年取得
虹と海（石川県）	2021 年取得
法師旅館（石川県）	2021 年取得
まつさき（石川県）	2021 年取得
ゆのくに天祥（石川県）	2021 年取得
吉田屋 山王閣（石川県）	2021 年取得
富士レークホテル（山梨県）	2021 年取得
シルクホテル（長野県）	2021 年取得
シルクホテルアネックス（長野県）	2021 年取得
ホテル玉之湯（長野県）	2021 年取得
八峯苑鹿の湯（長野県）	2021 年取得
ロワジールホテル豊橋（愛知県）	2021 年取得
北ビワコホテルグラツィエ（滋賀県）	2021 年取得
ホテルソビアル大阪ドーム前（大阪府）	2021 年取得
ホテルソビアルなんば大国町（大阪府）	2021 年取得
さぎの湯荘（島根県）	2021 年取得
なにわ一水（島根県）	2021 年取得
白竜湖リゾート（広島県）	2021 年取得
ホテル菊乃家（広島県）	2021 年取得
かんぼの宿 観音寺（香川県）	2021 年取得
ホテルトラッド博多（福岡県）	2021 年取得
長崎スカイホテル（長崎県）	2021 年取得
長崎ブルースカイホテル（長崎県）	2021 年取得
ホテル長崎（長崎県）	2021 年取得
ウェルネスリゾート沖縄休暇センター ユイン チホテル南城（沖縄県）	2021 年取得
サロマ湖鶴雅リゾート（北海道）	2022 年取得
しこつ湖鶴雅リゾートスパ 水の譚（北海道）	2022 年取得
ニセコ昆布温泉鶴雅別荘 杳の抄（北海道）	2022 年取得
ハイムシャンゼリゼ7・12（北海道）	2022 年取得

函館大沼 鶴雅リゾート エプイ (北海道)	2022 年取得
北天の丘あばしり湖鶴雅リゾート (北海道)	2022 年取得
奥州秋保温泉蘭亭 (宮城県)	2022 年取得
コンフォートホテル仙台西口 (宮城県)	2022 年取得
バリュー・ザ・ホテル東松島矢本 (宮城県)	2022 年取得
上杉の御湯 御殿守 (山形県)	2022 年取得
潮の香の湯宿浜紫 (千葉県)	2022 年取得
ホテルグレイスリー浅草 (東京都)	2022 年取得
ホテルグレイスリー田町 (東京都)	2022 年取得
Ryugon (新潟県)	2022 年取得
四季の宿 富士山 (山梨県)	2022 年取得
上諏訪温泉しんゆ (長野県)	2022 年取得
萃 sui-諏訪湖 (長野県)	2022 年取得
蓼科親湯温泉 (長野県)	2022 年取得
ホテル紅や (長野県)	2022 年取得
ホテル佐野家 (京都府)	2022 年取得
NISHIYAMA RYOKAN (京都府)	2022 年取得
ホテルグレイスリー大阪なんば (大阪府)	2022 年取得
ホテル 花小路 (奈良県)	2022 年取得
吉田屋旅館 (奈良県)	2022 年取得
HOTEL VAN CORNELL (広島県)	2022 年取得
リゾートホテル モアナコースト (徳島県)	2022 年取得
柳川 白柳荘 (福岡県)	2022 年取得
嬉野観光ホテル大正屋 (佐賀県)	2022 年取得
椎葉山荘 (佐賀県)	2022 年取得
ホテル白菊 (大分県)	2022 年取得
ホテル京セラ (鹿児島県)	2022 年取得
SHIROYAMA HOTEL kagoshima (鹿児島県)	2022 年取得

### 3. 旅行会社

#### (23) トラベライフ

EX0 Travel Japan(株)	【認証会員】Travelife Certified
東武トップツアーズ(株)	【パートナー会員】Travelife Partners
(株)JTB グローバルマーケティング&トラベル	【パートナー会員】Travelife Partners

Eighty Days(株)	【パートナー会員】 Travelife Partners
BOJ(株)	【パートナー会員】 Travelife Partners
(株)ZENZEN JAPAN	【パートナー会員】 Travelife Partners
(株)デスティネーションアジアジャパン	【パートナー会員】 Travelife Partners
Travel Hokkaido(株)トラベル北海道)	【一般会員】 Travelife Engaged
Explore Hakone	【一般会員】 Travelife Engaged
(株) ZENZEN JAPAN	【一般会員】 Travelife Engaged
(株)美ら地球(ちゅらぼし) SATOYAMA EXPERIENCE	【一般会員】 Travelife Engaged
オリエンタル(株)	【一般会員】 Travelife Engaged
Beauty of Japan Tours (株)	【一般会員】 Travelife Engaged
(合)DISCOVER WALKS	【一般会員】 Travelife Engaged
BOJ(株)	【一般会員】 Travelife Engaged
(株)めぐるん	【一般会員】 Travelife Engaged
トラベル愛ランド(株)	【一般会員】 Travelife Engaged
(株)北海道宝島旅行社	【一般会員】 Travelife Engaged
(株)インアウトバウンド仙台	【一般会員】 Travelife Engaged
松島	【一般会員】 Travelife Engaged
(株)キャニオンズ	【一般会員】 Travelife Engaged
ADVENTURE HOKKAIDO(合)	【一般会員】 Travelife Engaged
(株)かまいし DMC	【一般会員】 Travelife Engaged
Japan Travel(株)	【一般会員】 Travelife Engaged
Lotus Cycle	【一般会員】 Travelife Engaged
(株)日本旅行	【一般会員】 Travelife Engaged
(株)こはく	【一般会員】 Travelife Engaged
(株)ライダス	【一般会員】 Travelife Engaged
チェルカトラベル(株)	【一般会員】 Travelife Engaged
(株)JTB	【一般会員】 Travelife Engaged
奥ジャパン(株)	【一般会員】 Travelife Engaged
(株)穴吹トラベル	【一般会員】 Travelife Engaged
(24) GSTC certification/コントロールユニオン	
国内に該当なし	

(25) GSTC certification／ビューローベリタス		
国内に該当なし		
(26) GSTC certification／ビレオ		
国内に該当なし		
(27) GSTC certification／ユナイテッドサティフィケーションシステムズ		
国内に該当なし		
(28) 世界観光倫理憲章		
(株) J T B		2014 年署名
(株) エイチ・アイ・エス		2014 年署名
KNT-CTホールディングス(株)		2014 年署名
(株) 日本旅行		2014 年署名
沖縄ツーリスト(株)		2014 年署名
(株) ワールド航空サービス		2014 年署名
(株) アサヒトラベルインターナショナル		2018 年署名
東武トップツアーズ(株)		2018 年署名
4. 飲食店／レストラン		
(29) FOOD MADE GOOD		
BOTTEGA BLUE (兵庫県)		3 つ星
Sustainable Kitchen ROSY (東京都)		
Ode (東京都)		
PIZZERIA GTALIA DA FILIPPO (東京都)		1 つ星
御料理 茅乃舎 (福岡県)		3 つ星
Bella Porto (大阪府)		1 つ星
Restaurant be (広島県)		
KITCHEN MANE (神奈川県)		
haishop café (東京都)		3 つ星
KIGI (東京都)		3 つ星
Oppla da Gtalia (東京都)		
セルバッジオ / SELVAGGIO (愛媛県)		2 つ星
ロオジエ (東京都)		1 つ星
ファロ / FARO (東京都)		
caferest montrose (広島県)		
ニセコチセガーデン (北海道)		3 つ星
Graal (宮城県)		
日本料理 富成 (石川県)		

	トラットリア ケナル (岡山県)	
<b>(30) WWF サステナブル・シーフード基準</b>		
	イケア 各店舗	メニュー：サーモンマリネ 他
	きじま (みなとみらい店、新横浜店、戸塚本陣) (神奈川県)	メニュー：MSCメバチマグロとASC銀鮭の海鮮アボカド丼
	ALOHA TABLE (国内直営全 18 店舗) 他	メニュー：マグロとアボカドのポキ・ライスボウル 他
	羽田市場食堂東京駅店、羽田市場銀座直売店 (東京都)	メニュー：【火サス定食】スーパージャンボタルタル白身フライ 定食 (ご飯と味噌汁付) 他
	パーク ハイアット 東京 (ニューヨーク グリル 他) (東京都)	メニュー：サステナブル中トロのグリル トマトと山葵チャツネ ライム 他
	ヒルトン東京ベイ (グリル&イタリアン「アチェンド」) (東京都)	メニュー：ココットで燻したサーモンのグリル タブナードソース 他
	フランセーズ・ラ・ポルテ (神奈川県)	メニュー：戸倉っこ牡蠣のベニエ〜生ハム添え
	大森海岸 松乃鮨 (東京都)	メニュー：MSC大西洋本マグロと太平洋本マグロ食べ比べ
<b>(31) G A P 認証</b>		
	GLOBALG. A. P 690 件の経営体が認証取得	2020 年時点
	ASIAGAP/JGAP 7,447 件の農場が取得	2021 年 3 月時点
<b>(32) 観光施設における心のバリアフリー認定</b>		
	レストラン ベリンバウ (茨城県)	2022 年取得
	皇居外苑楠公レストハウス (東京都)	2022 年取得
	Trattoria CarneSio (東京都)	2022 年取得
	麺屋 義 (東京都)	2022 年取得
	有限会社吉田家 (東京都)	2022 年取得
	分とく山 (東京都)	2022 年取得
	萬珍樓 (神奈川県)	2022 年取得
<b>5. ガイド</b>		
<b>(33) GSTC Sustainable Tourism Training Program (S T T P) 合格者</b>		
	75 名 (受験者 161 名)	※ 2021 年 12 月時点
<b>(34) 自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーション人材</b>		
	個人資格のため情報非公開	
<b>6. 脱炭素対策の取り組み</b>		

(35) S B T		
目標値承認済企業数（国内）	173 社	
コミット企業数（国内）	30 社	
※ 2年以内の目標値設定を表明		
目標値承認済企業数（観光業）	25 社	
国内に該当なし		
(36) グリーナーチョイス		
国内に該当なし		